認定機器及び登録機器 書類審査チェックシート

【書類審査・品質管理・構造検査・耐熱試験】

2010年(平成22年) 9月30日 2011年(平成23年) 4月27日 第1回改訂 2017年(平成29年) 3月22日 第2回改訂 2023年(令和 5年) 4月 1日 第3回改訂

□ 各種チェックシートについては、当工業会(耐熱形配電盤等【機器】認定制度)ホームページに掲載してありますので、ダウンロードして、ご使用になれます。

一般社団法人日本配電制御システム工業会 非 常 用 配 電 盤 等 機 器 認 定 委 員 会

目 次

各種機器書類審査(新規・更新)チェックシート

別添 1	耐火形端子台	1
別添 2	耐熱形配線用遮断器	5
別添 3	耐熱形ヒューズ	9
別添 4	耐熱形素子なし配線用遮断器	13
別添 5	耐熱形電磁接触器	17
別添 6	耐熱形電磁継電器 (コンタクタ形)	21
別添7	認定機器 (OEM)	25
別添8	耐火形表示灯	29
別添 9	耐火形扉用把手	33
別添 10	耐火形制御用スイッチ	37
別添 11	耐火形過電流継電器	41
別添 12	耐熱形タイマ	45
別添 13	耐熱形液面継電器	49
別添 14	耐熱形整流器	53
別添 15	耐熱形変流器	57
別添 16	耐熱形制御用変圧器	61
別添 17	耐熱形表示灯用変圧器	65
別添 18	耐熱形ヒューズホルダ	69
別添 19	耐熱形端子台	73
別添 20	耐熱形制御用スイッチ	77
別添 21	耐熱形配線用ダクト	81
別添 22	耐熱形カードホルダ	85
別添 23	耐熱形低圧配電用サージ防護デバイス	89
別添 24	登録機器 (OEM)	93
	品質管理・構造検査・耐熱試験チェックシート	
別添 25	品質管理	97
別添 26	構造検査(一・二種耐熱形配線用遮断器、ヒューズ、素子なし配線用遮断器)	99
別添 27	構造検査(一·二種耐熱形電磁接触器、電磁継電器)	100
別添 28	耐熱試験(一・二種耐熱形配線用遮断器、素子なし配線用遮断器)	101
別添 29	耐熱試験(一・二種耐熱形ヒューズ)	103
別添 30	耐熱試験 (一・二種耐熱形電磁接触器、電磁継電器)	105
別添 31	構造検査・耐熱試験(耐火形端子台)	106

耐火形端子台書類審査チェックシート (新規)

彑	E.	月	F

受付番号			確認者:
申請者名			
型式区分	(種別)耐火	、形端子台 (区分)
チェックの別	新規・自己	製造者形式	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 型式認定申請書		
	2. 取得済みの認定証書の写(認定試験一部省略の場合に添付)		
	3. 誓約書		
	4. 品質管理に関する説明書		
	5. 申請者の自主型式試験成績書		
	6. 外形図及び外観写真		
	7. 構造図及び主要部品材料表		
	8. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	9. 機器の種別と定格		
	10. 書類審査チェックシート(自己チェック)		
	11. 自主耐熱試験成績書及び温度チャート(試験時の写真含む)		
1. 型式認定	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
申請書	(2) 型式区分(種別・区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 取得済みの	認定証書の写は、認定試験一部省略に相当する内容のものであるか。		
認定書の写	また、有効期限に問題はないか。		
3. 誓約書	誓約書の記載内容に誤りはないか。		
4. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職 (部長職以上) であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) 次の試験装置を所有しているか。		
	ア. 電圧調整器 100V 5A以上		
	イ. 電流調整器 400A以上、CT400/5A		
	ウ. 交流電圧計 150/300V 0.5級以上		
	工. 交流電流計 5A 0.5級以上		
	才. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上		
	力. 絶縁抵抗計 DC500V		
	キ. 検電器 2000V用以上		
	ク. テスタ		
	ケ. 温度計、湿度計		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
- ス ₋	(6) 次の規格基準類を所有しているか。	WI A	以中间口
関する説明書	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
関りの呪切音	イ. 社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. J I S 及び J E M 等における関係規格		
	オ、電気設備の技術基準		
	カ、内線規程		
	キ.消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集		
5. 申請者の自主	試験成績書の内容に誤りはないか。		
型式試験成績表	NECA C 2811 に適合又は準拠しているか。		
6. 外形図及び	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び		
外観写真	日付が記入されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 認定証票(認定取得後)の貼付位置が明示されているか。		
	(5) 鮮明な外観のカラー写真(プリント可)がA4版の台紙に貼付さ		
	れているか。		
7. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造等は適切か。		
8. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア. 製造者名又は略号		
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:耐火形(耐火)		
o MV HH —	ウ. 耐熱定格電流		
9. 機器の	「認定機器試験規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。		
種別と定格	ア.型式区分 イ.製造者形式 ウ. 定格絶縁電圧		
	エ. 定格電流 オ. 耐熱定格電流 カ. 極数		
 10. 書類審査	キ. 適合規格(適合の場合) 確認者名及び日付が記入されているか。		
10. 青頬番宜 チェックシート	確認有名及の自行が記入されているか。		
11. 自主耐熱試験	 (1) 自主耐熱試験は「認定機器試験基準」及び NECA C 2811 に準拠し		
試験成績書及び	て行われているか。		
温度チャート図	(構造試験、耐熱試験チェックシートを添付する。)		
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	(2) 耐熱試験前後の鮮明なカラー写真(プリント可) A 4 版の台紙		
	に貼付されているか。		
	(3) チャート図、試験成績書に問題ないか。		
12. その他			
Market / Lee Dee	 		

耐火形端子台書類審査チェックシート (更新)

白	Ē,	月 E	

受付番号]	;	確認者:
申請者名			型式番号	
型式区分	(種別) 耐火形端子	·台 (区分)		
チェックの別	更新・自己 製造	者形式		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 更新申請書	 (1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 型式認定更新申請書 2. 取得済みの認定証書の写 3. 誓約書 4. 品質管理に関する説明書 5. 申請者の自主型式試験成績書 6. 外形図 7. 構造図及び主要部品材料表 8. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 9. 機器の種別と定格 		
1. 型式認定 更新申請書	 10. 書類審査チェックシート(自己チェック) (1) 申請者の記載内容に誤りはないか。 (2) 型式区分(種別・区分)が正しく記載されているか。 (3) 型式番号が正しく記載されているか。 (4) 製造者形名が正しく記載されているか。 		
 取得済みの 認定書の写 誓約書 品質管理に 関する説明書 	認定証書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。 また、有効期限に問題はないか。 誓約書の記載内容に誤りはないか。 (1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。 (2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。 (3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。 (4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。 (5) 次の試験装置を所有しているか。 ア. 電圧調整器 100V 5A以上 イ. 電流調整器 400A以上、CT400/5A ウ. 交流電圧計 150/300V 0.5級以上 エ. 交流電流計 5A 0.5級以上		
	オ. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上 カ. 絶縁抵抗計 DC500V キ. 検電器 2000V用以上 ク. テスタ ケ. 温度計、湿度計		

項 目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 品質管理に	(6) 次の規格基準類を所有しているか。	THZIS	111 114 표 2
関する説明書	ア・耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
My o way i	イ、社内設計基準		
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ. 電気設備の技術基準		
	力. 内線規程		
	キ.消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集		
5. 申請者の自主	試験成績書の内容に誤りはないか。		
型式試験成績表	NECA C 2811 に適合又は準拠しているか。		
6. 外形図	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び		
	日付が記入されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日		
	付と確認者名があるか。		
	なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(5) 認定証票の貼付位置が明示されているか。		
7. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造等は適切か。		
8. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア、製造者名又は略号		
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:耐火形(耐火) ウ. 耐熱定格電流		
9. 機器の 種別と定格	「認定機器試験規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。		
性別と足俗	ア.型式区分 イ.製造者形式 ウ.定格絶縁電圧 エ.定格電流 オ.耐熱定格電流 カ.極数		
	- ・ ・ た		
10. 一部変更	一部変更や軽補正があった場合、その内容が図面等に反映されてい		
• 軽補正	一		
11. 書類審査	後期		
チェックシート	LEBO D HOVE BOX CAN CAN O		
12. その他			

耐熱形配線用遮断器書類審査チェックシート (新規)

年 日 日

受付番号				確認者		
申請者名						
型式区分	(種別)	耐熱形配線用道	庶断器 (区分)			
チェックの別	新規・自己	製造者形式				

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 型式認定申請書		
	2. 取得済みの認定証書の写(認定試験一部省略の場合に添付)		
	3. 誓約書		
	4. 品質管理に関する説明書		
	5. 電気用品安全法に基づく適合性検査証明書の写		
	(対象品以外については申請者の自主型式試験成績書)		
	6. 外形図及び外観写真		
	7. 構造図及び主要部品材料表		
	8. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	9. 機器の種別と定格		
	10. 書類審査チェックシート(自己チェック)		
	11. 自主耐熱試験成績書及び温度チャート図(試験時の写真含む)		
1. 型式認定	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
申請書	(2) 型式区分(種別・区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 取得済みの	認定証書の写は、認定試験一部省略に相当する内容のものであるか。		
認定書の写	また、有効期限に問題はないか。		
3. 誓約書	誓約書の記載内容に誤りはないか。		
4. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		
	ているか。		
	(5) 次の試験装置を所有しているか。		
	ア. 電圧調整器 100V 5A以上		
	イ. 電流調整器 400A以上、CT400/5A		
	ウ. 交流電圧計 150/300V 0.5級以上		
	工. 交流電流計 5A 0.5級以上		
	才. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上		
	力. 絶縁抵抗計 DC500V		
	キ. 検電器 2000V用以上		
	ク. テスタ		
	ケ. 温度計、湿度計		
	コ. 短絡遮断試験設備一式		

			Ita Ida III -
項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 品質管理に	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
関する説明書	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ. 社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ、電気設備の技術基準		
	カ、内線規程		
	キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集		
5. 電気用品安全	(1) 適合性検査証明書の有効期限に問題はないか。		
法に基づく適合	(2) (1)の記載内容と申請対象機器の定格・仕様は同一か。		
性検査証明書の	(3) (1) 以外の配線用遮断器については、申請者の自主型式試験成績		
写又は申請者の	書が添付されているか。		
自主型式試験成	(4) (3)の試験成績書の内容に誤りはないか。		
績表	JIS C 8201-2-1 附属書 2 に適合又は準拠していること。		
6. 外形図及び	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び		
外観写真	日付が記入されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 認定証票(認定取得後)の貼付位置が明示されているか。		
	(5) 鮮明な外観のカラー写真(プリント可)がA4版の台紙に貼付		
	されているか。		
7. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
8. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア. 製造者名又は略号		
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:一種耐熱形又は二種耐熱形		一種耐熱又は二種
	ウ. 耐熱定格電流		耐熱でもよい
	工.耐熱定格遮断容量		
9. 機器の	「認定機器試験規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。		
種別と定格	ア、型式区分 イ、製造者形式 ウ、選択度種別		
	工. 定格使用電圧 才. 定格電流 力. 耐熱定格電流		
	キ. 定格限界短絡遮断容量 ク. 耐熱定格遮断容量		
	ケ、定格周波数 コ、基準周囲温度		
10 事經常本	サ. 適合規格及び回路遮断器の種別(適合の場合)		
10. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
11. 自主耐熱試	(1) 自主耐熱試験は「認定機器試験基準」及び JIS C 8201-2-1Ann2		
験成績書及び	に準拠して行われているか。		
温度チャート図	(耐熱試験チェックシートを添付する)		
	(2) 耐熱試験の前後の鮮明なカラー写真 (プリント可) がA4版の		
	台紙に貼付されているか。		
	(3) チャート図、試験成績書に問題ないか。		
12. その他			

耐熱形配線用遮断器書類審査チェックシート (更新)

受付番号						確認者:
申請者名					型式番号	
型式区分	(種別)	耐熱形配線用過		(区分)		
チェックの別	更新・自己	製造者形式				

項目	チェック内容	結果	 指 摘 事 項
○申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)	MAZIT	78 373 7 7
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 型式認定更新申請書		
	2. 取得済みの認定証書の写		
	3. 誓約書		
	4. 品質管理に関する説明書		
	5.電気用品安全法に基づく適合性検査証明書の写		
	(対象品以外については申請者の自主型式試験成績書)		
	6. 外形図		
	7. 構造図及び主要部品材料表		
	8. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	9. 機器の種別と定格		
	10. 書類審査チェックシート(自己チェック)		
1. 型式認定	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
更新申請書	(2) 型式区分(種別・区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 型式番号が正しく記載されているか。		
	(4) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 取得済みの	認定証書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
認定書の写	また、有効期限に問題はないか。		
3. 誓約書	誓約書の記載内容に誤りはないか。		
4. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
	(3) 品質管理組織図には各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		
	ているか。		
	(5) 次の試験装置を所有しているか。		
	ア. 電圧調整器 100V 5A以上		
	イ. 電流調整器 400A以上、CT400/5A		
	ウ. 交流電圧計 150/300V 0.5 級以上		
	工. 交流電流計 5A 0.5級以上		
	才. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上		
	カ. 絶縁抵抗計 DC500V		
	キ. 検電器 2000V用以上		
	ク. テスタ , 、		
	ケ. 温度計、湿度計		
	コ. 短絡遮断試験設備一式 		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
71 11		州不	111 111 子 次
4. 品質管理に	(6)次の規格基準類を所有しているか。		
関する説明書	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準		
	7. 私内設計基準ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ. 電気設備の技術基準		
	カ. 内線規程		
	キ. 消防法関係法令集		
	7. 相關公園係公司集2. 建築基準法関係法令集		
	(1) 適合性検査証明書の有効期限に問題はないか。		
法に基づく適合	(2) (1)の記載内容と申請対象機器の定格・仕様は同一か。		
性検査証明書の	(3) (1) 以外の配線用遮断器については、申請者の自主型式試験成績		
写又は申請者の	書が添付されているか。		
自主型式試験成	(4) (3)の試験成績書の内容に誤りはないか。		
看表 看表	JIS C 8201-2-1 附属書 2 に適合又は準拠していること。		
6. 外形図	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日		
U・ / F / I / D / D / D / D / D / D / D / D / D	(1) 図面(主放)には、製図有、放計有、使図有、承認有の印及の中 付が記入されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日		
	付と確認者名があるか。		
	なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
7 ## 〉生 □ ロフィド	(5) 認定証票の貼付位置が明示されているか。		
7. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
8. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア、製造者名又は略号		任工器 豆豆二年
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:一種耐熱形又は二種耐熱形		一種耐熱又は二種
	ウ. 耐熱定格電流		耐熱でもよい
9. 機器の	工. 耐熱定格遮断容量 「認定機器試験規程」表 2 に掲げる次の事項が明記されているか。		
9. 機器の 種別と定格			
1里月1 こ 足俗	ア. 型式区分 イ. 製造者形式 ウ. 選択度種別 エ. 定格使用電圧 オ. 定格電流 カ. 耐熱定格電流		
	ケ. 定格周波数 コ. 基準周囲温度		
	サ. 適合規格及び回路遮断器の種別(適合の場合)		
10. 一部変更	一部変更や軽補正があった場合、その内容が図面等に反映されてい		
· 軽補正	の多文で発用エルのうに物点、Coppi谷が図画寺に及供されているか。		
11. 書類審査	確認者のサイン及び日付が記入されているか。		
チェックシート	L MERRIT - V / I A V / O H II W. HEVY CAROCA . O W. 9		
12. その他			
12. C V/IE			
供来 は用棚には	満工け○印		

耐熱形ヒューズ書類審査チェックシート (新規)

受付番号			確認者:
申請者名			
型式区分	(種別)	耐熱形ヒュース	ズ (区分)
チェックの別	新規・自己	製造者形式	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 型式認定申請書		
	2. 取得済みの認定証書の写(認定試験一部省略の場合に添付)		
	3. 誓約書		
	4. 品質管理に関する説明書		
	5. 電気用品安全法に基づく適合性検査証明書の写		
	(対象品以外については申請者の自主型式試験成績書)		
	6. 外形図及び外観写真		
	7. 構造図及び主要部品材料表		
	8. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	9. 機器の種別と定格		
	10. 書類審査チェックシート(自己チェック)		
	11. 自主耐熱試験成績書及び温度チャート図(試験時の写真含む)		
1. 型式認定	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
申請書	(2) 型式区分(種別・区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 取得済みの	認定証書の写しは、認定試験一部省略に相当する内容のものである		
認定書の写	か。また、有効期限に問題はないか。		
3. 誓約書	誓約書の記載内容に誤りはないか。		
4. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		
	ているか。		
	(5) 次の試験装置を所有しているか。		
	ア. 電圧調整器 100V 5A以上		
	イ. 電流調整器 400A以上、CT400/5A		
	ウ. 交流電圧計 150/300V 0.5級以上		
	工. 交流電流計 5A 0.5級以上		
	才. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上		
	カ. 絶縁抵抗計 DC500V		
	キ. 検電器 2000V用以上		
	ク. テスタ		
	ケ. 温度計、湿度計		
	コ. 短絡遮断試験設備一式		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 品質管理に			
関する説明書	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ. 社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ、電気設備の技術基準		
	力. 内線規程		
	キ.消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集		
5. 電気用品安全	(1) 適合性検査証明書の有効期限に問題はないか。		
法に基づく適合	(2) (1)の記載内容と申請対象機器の定格・仕様は同一か。		
性検査証明書の	(3) (1)以外のヒューズは申請者の自主型式試験成績書が添付されて		
写又は申請者の	いるか。		
自主型式試験成	(4) (3)の試験成績書の内容に誤りはないか。		
績表	JIS C 8352 に適合又は準拠していること。		
6. 外形図及び	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日		
外観写真	付が記入されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 認定証票(認定取得後)の貼付位置が明示されているか。		
	(5) 鮮明な外観のカラー写真 (プリント可) がA4版の台紙に貼付		
	されているか。		
7. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
8. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア・製造者名又は略号		** **
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:一種耐熱形又は二種耐熱形		一種耐熱及び二種
	ウ. 耐熱定格電流		耐熱でもよい
0 松里の	工、耐熱定格遮断容量		
9. 機器の 種類と定格	「認定機器試験規程」表 2 に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 型式区分 イ. 製造者形式 ウ. 交流、直流の別		
性類とた恰	7. 空れ区分 1. 袋垣有形れ 9. 交流、直流の別		
	カ. 耐熱定格電流 キ. 定格遮断容量(ヒューズリンク)		
	ク. 耐然定格電机 4. 定格感酬各量 (Cユーハッシッ) ク. 耐熱定格遮断容量 ケ. 種別 (A又はB)		
	コ、適合規格(適合の場合)		
10. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート			
11. 自主耐熱試験	(1) 自主耐熱試験は、「認定機器試験基準」及び JIS C 8352 に準拠		
成績書及び	して行われているか。(耐熱試験チェックシートを添付する。)		
温度チャート図	(2) 耐熱試験前後の鮮明なカラー写真(プリント可)が、A4版の台		
	紙に貼付されているか。		
	(3) チャート図、試験成績書に問題はないか。		
12. その他			
	 適正け○印 不適正け×印 該当かしけ―印を記入すること		

耐熱形ヒューズ書類審査チェックシート (更新)

年	月	H

受付番号			確認者:			
申請者名				型式番号		
型式区分	(種別)	耐熱形ヒュー	ズ (区分)			
チェックの別	更新・自己	製造者形式				

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA 4 綴じか。(用紙の最大はA3 サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 型式認定更新申請書 2. 取得済みの認定証書の写 3. 誓約書 4. 品質管理に関する説明書 5. 電気用品安全法に基づく適合性検査証明書の写 (対象品以外については申請者の自主型式試験成績書) 6. 外形図 7. 構造図及び主要部品材料表 8. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 9. 機器の種別と定格		
1. 型式認定 更新申請書	10. 書類審査チェックシート (自己チェック) (1) 申請者の記載内容に誤りはないか。 (2) 型式区分 (型式・区分) が正しく記載されているか。 (3) 型式番号が正しく記載されているか。 (4) 製造者形名が正しく記載されているか。		
 取得済みの 認定書の写 誓約書 	認定証書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。 また、有効期限に問題はないか。 誓約書の記載内容に誤りはないか。		
4. 品質管理に関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されて		
	いるか。 (5) 次の試験装置を所有しているか。 ア. 電圧調整器 100V 5A以上 イ. 電流調整器 400A以上、CT400/5A ウ. 交流電圧計 150/300V 0.5級以上 エ. 交流電流計 5A 0.5級以上 オ. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上 カ. 絶縁抵抗計 DC500V キ. 検電器 2000V用以上 ク. テスタ ケ. 温度計、湿度計 コ. 短絡遮断試験設備一式		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
7. /.		/ru//\	1日 1旧 五、父
4. 品質管理に	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
関する説明書	ア、耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ. 社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程		
	ガ. 内縁現住 キ. 消防法関係法令集		
	7. 何の佐渕保佐市果ク. 建築基準法関係法令集		
	(1) 適合性検査証明書の有効期限に問題はないか。		
法に基づく適合	(2) (1)の記載内容と申請対象機器の定格・仕様は同一か。		
性検査証明書の	(3) (1)以外のヒューズは申請者の自主型式試験成績書が添付されて		
写又は申請者の			
自主型式試験成	いるか。 (4) (3)の試験成績書の内容に誤りはないか。		
自主至八 <u></u> 、	•		
	JIS C 8352 に適合又は準拠していること。		
6. 外形図	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日		
	付が記入されているか。 (最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日		
	付と確認者名があるか。		
	なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(5) 認定証票の貼付位置が明示されているか。		
7. 構造図及び主	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
8. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア.製造者名又は略号		
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:一種耐熱形又は二種耐熱形		一種耐熱又は二種
	ウ. 耐熱定格電流		耐熱でもよい
	工.耐熱定格遮断容量		
9. 機器の	「認定機器試験規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。		
種類と定格	ア. 型式区分 イ. 製造者形式 ウ. 交流、直流の別		
	エ. 定格電圧 オ. 定格電流(ヒューズリンク)		
	カ. 耐熱定格電流 キ. 定格遮断容量(ヒューズリンク)		
	ク. 耐熱定格遮断容量 ケ. 種別(A又はB)		
	コ、適合規格(適合の場合)		
10. 一部変更	一部変更や軽補正があった場合、その内容が図面等に反映されてい		
・軽補正	るか。		
11. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート			
11. その他			
Market / Lee tee	 適正け○印 不適正け×印 該当かしけ=印を記入すること	1	

耐熱形素子なし配線用遮断器書類審査チェックシート (新規)

受付番号					確認者:
申請者名					
型式区分	(種別) 而	耐熱形素子なし	配線用遮断器	(区分)	
チェックの別	新規・自己	製造者形式			

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 型式認定申請書		
	2. 取得済みの認定証書の写 (認定試験一部省略の場合に添付)		
	3. 誓約書		
	4. 品質管理に関する説明書		
	5. 申請者の自主型式試験成績書		
	6. 外形図及び外観写真		
	7. 構造図及び主要部品材料表		
	8. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	9. 機器の種別と定格		
	10. 書類審査チェックシート(自己チェック)		
	11. 自主耐熱試験成績書及び温度チャート図(試験時の写真含む)		
1. 型式認定	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
申請書	(2) 型式区分(種別・区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 取得済みの	認定証書の写しは、認定試験一部省略に相当する内容のものである		
認定書の写	か。また、有効期限に問題はないか。		
3. 誓約書	誓約書の記載内容に誤りはないか。		
4. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
	(3) 品質管理組織図には各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		
	ているか。		
	(5) 次の試験装置を所有しているか。		
	ア. 電圧調整器 100V 5A以上		
	イ. 電流調整器 400A以上、CT400/5A		
	ウ. 交流電圧計 150/300V 0.5級以上		
	エ. 交流電流計 5A 0.5級以上		
	才. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上		
	力. 絶縁抵抗計 DC500V		
	キ. 検電器 2000V用以上		
	ク. テスタ		
	ケ. 温度計、湿度計		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 品質管理に	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
関する説明書	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ.社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ.JIS及びJEM等における関係規格		
	オ. 電気設備の技術基準		
	力. 内線規程		
	キ.消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集		
5. 申請者の自主	申請者の自主型式試験成績書が添付されているか。		
型式試験成績表	JIS C 8201-3 に適合又は準拠していること。		
6. 外形図及び	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日		
外観写真	付が記入されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 認定証票(認定取得後)の貼付位置が明示されているか。		
	(5) 鮮明な外観のカラー写真(プリント可)がA4版の台紙に貼付		
	されているか。		
7. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
8. 銘板図又は	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
銘板サンプル	ア. 製造者名又は略号		一種耐熱又は二種
24100	イ. 耐熱形である旨の表示:一種耐熱形又は二種耐熱形		耐熱でもよい
	ウ. 耐熱定格電流		1,47/11.
9. 機器の	「認定機器試験規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。		
種別と定格	ア、型式区分 イ、製造者形式 ウ、使用負荷種別		
	工. 定格絶縁電圧 才. 定格電圧 (定格使用電圧)		
	 カ. 耐熱定格電流 キ. 定格使用電流(定格電流)		
	- ク. 適合規格(適合の場合)		
10. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート	•		
11. 自主耐熱試	(1) 自主耐熱試験は「認定機器試験基準」及び JIS C 8201-3 に準		
験成績書及び	拠して行われているか。(耐熱試験チェックシートを添付する)		
温度チャート図	(2) 耐熱試験の前後の鮮明なカラー写真(プリント可)がA4版の		
	台紙に貼付されているか。		
	(3) チャート図、試験成績書に問題はないか。		
12. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは一印を記入すること。

耐熱形素子なし配線用遮断器書類審査チェックシート (更新)

受付番号			確認者:			
申請者名				型式番号		
型式区分	(種別)	耐熱形素子	なし配線用遮断器	(区分)		
チェックの別	更新・自己	製造者形式				

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA 4 綴じか。(用紙の最大はA3 サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 型式認定更新申請書 2. 取得済みの認定証書の写 3. 誓約書 4. 品質管理に関する説明書 5. 申請者の自主型式試験成績書 6. 外形図 7. 構造図及び主要部品材料表 8. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 9. 機器の種別と定格 10. 書類審査チェックシート(自己チェック)		
1. 型式認定 更新申請書	 (1) 申請者の記載内容に誤りはないか。 (2) 型式区分(種別・区分)が正しく記載されているか。 (3) 型式番号が正しく記載されているか。 (4) 製造者形名が正しく記載されているか。 		
2. 取得済みの 認定書の写	認定証書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。 (型式認定更新申請書と合わせる。)		
3. 誓約書4. 品質管理に関する説明書	 誓約書の記載内容に誤りはないか。 (1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。 (2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。 (3) 品質管理組織図には各部門の体制図が記載されているか。 (4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。 (5) 次の試験装置を所有しているか。 ア. 電圧調整器 100V 5A以上イ.電流調整器 400A以上、CT400/5Aウ.交流電圧計 150/300V 0.5級以上エ.交流電流計 5A 0.5級以上オ.耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上カ.絶縁抵抗計 DC500Vキ.検電器 2000V用以上ク.テスタケ.温度計、湿度計 		

項目	7	⟨土 田	化妆声荷
,, ,,	チェック内容	結果	指摘事項
4. 品質管理に	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
関する説明書	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ. 社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ. 電気設備の技術基準		
	力. 内線規程		
	キ.消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集		
5. 申請者の自主	申請者の自主型式試験成績書が添付されているか。		
型式試験成績表	JIS C 8201-3 に適合又は準拠していること。		
6. 外形図	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日		
	付が記入されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日		
	付と確認者名が記入されているか。		
	なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(5) 認定証票の貼付位置が明示されているか。		
	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
8. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
8. 表示(新板) 凶、 表示サンプル	ア・製造者名又は略号		
又は刻印図	7. 級坦日石スは町ヶ イ. 耐熱形である旨の表示:一種耐熱形又は二種耐熱形		一種耐熱又は二種
人(4列中四	つ・		種間 然文は 一種 耐熱でもよい
9. 機器の	「認定機器試験規程」表 2 に掲げる次の事項が明記されているか。		門然でもよい
9. 1級船の 種別と定格	ア. 型式区分 イ. 製造者形式 ウ. 使用負荷種別		
性別と足俗	エ. 定格絶縁電圧 オ. 定格電圧(定格使用電圧)		
	カ、耐熱定格電流 キ、定格使用電流(定格電流)		
10 如亦田	ク. 適合規格(適合の場合)		
10. 一部変更	一部変更や軽補正があった場合、その内容が図面等に反映されてい		
・軽補正	るか かか ファックス・ファールール・ファックス・ファックス・ファックス・ファックス・ファックス・ファックス・ファックス・ファックス・ファック		
11. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート			
12. その他			

耐熱形電磁接触器書類審査チェックシート (新規)

受付番号			確認者:
申請者名			
型式区分	(種別)	耐熱形電磁接触	独器 (区分)
チェックの別	新規・自己	製造者形式	

○ 申請図書	項目	チェック内容	結果	指 摘 事 項
10. 書類審査チェックシート (自己チェック) 11. 自主耐熱試験成績書及び温度チャート図 (試験時の写真含む) 11. 自主耐熱試験成績書及び温度チャート図 (試験時の写真含む) 1. 型式認定		 (1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 型式認定申請書 2. 取得済みの認定証書の写(認定試験一部省略の場に添付) 3. 誓約書 4. 品質管理に関する説明書 5. 申請者の自主型式試験成績書 6. 外形図及び外観写真 7. 構造図及び主要部品材料表 8. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 	結果	指摘事項
# 申請書 (2) 型式区分 (種別・区分) が正しく記載されているか。 (3) 製造者形名が正しく記載されているか。 2. 取得済みの 認定証書の写は、認定試験一部省略に相当する内容のものであるか。 また、有効期限に問題はないか。 3. 誓約書 誓約書の記載内容に誤りはないか。 4. 品質管理に 関する説明書 (1) 品質管理責任者は管理職 (部長職以上) であるか。 (2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。 (3) 品質管理組織図には各部門の体制図が記載されているか。 (4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。 「5) 次の試験装置を所有しているか。 ア. 電圧調整器 100V 5A以上 イ. 電流調整器 400A以上、CT400/5A ウ. 交流電圧計 150/300V 0.5級以上 エ. 交流電流計 5A 0.5級以上		10. 書類審査チェックシート(自己チェック)		
認定書の写 また、有効期限に問題はないか。		(2) 型式区分 (種別・区分) が正しく記載されているか。		
 4. 品質管理に関する説明書 (1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。 (2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。 (3) 品質管理組織図には各部門の体制図が記載されているか。 (4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。 (5) 次の試験装置を所有しているか。 ア. 電圧調整器 100V 5A以上 イ. 電流調整器 400A以上、CT400/5A ウ. 交流電圧計 150/300V 0.5級以上 エ. 交流電流計 5A 0.5級以上 				
オ. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上 カ. 絶縁抵抗計 DC500V キ. 検電器 2000V用以上 ク. テスタ ケ. 温度計、湿度計	4. 品質管理に	 (1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。 (2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。 (3) 品質管理組織図には各部門の体制図が記載されているか。 (4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。 (5) 次の試験装置を所有しているか。 ア. 電圧調整器 100V 5A以上 イ. 電流調整器 400A以上、CT400/5A ウ. 交流電圧計 150/300V 0.5級以上 エ. 交流電流計 5A 0.5級以上 オ. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上 カ. 絶縁抵抗計 DC500V キ. 検電器 2000V用以上 ク. テスタ 		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 品質管理に	(6) 次の規格基準類を所有しているか。	ABAIT	311 314 3 3
関する説明書	ア、耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
101 / 01/10/11	イ、社内設計基準		
	立、社内検査基準		
	エ.JIS及びJEM等における関係規格		
	オ. 電気設備の技術基準		
	力. 内線規程		
	キ.消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集		
5. 申請者の自主	申請者の自主型式試験成績書が添付されているか。		
型式試験成績表	JIS C 8201-4-1 又は JEM 1038 に適合又は準拠していること。		
6. 外形図及び	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日		
外観写真	付が記入されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 認定証票 (認定取得後) の貼付位置が明示されているか。		
	(5) 鮮明な外観のカラー写真(プリント可)がA4版の台紙に貼付さ		
	れているか。		
7. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
8. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア. 製造者名又は略号		
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:一種耐熱形又は二種耐熱形		一種耐熱又は二種
	ウ. 耐熱定格電流		耐熱でもよい
9. 機器の	「認定機器試験規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。		
種別と定格	ア・型式区分 イ・製造者形式 ウ・定格使用電圧		
	工、定格通電電流 才、耐熱定格通電電流		
	カ. 操作回路の定格使用電圧 キ. 適合規格(適合する場合)		
10. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート	(1) 点 之志(執) 計除(以) (四) (四) (四) (四) (四) (四) (四) (四) (四) (四		
11. 自主耐熱 試験成績書及び	(1) 自主耐熱試験は「認定機器試験基準」及び JEM 1038、JIS C 8201- 4-1 に準拠して行われているか。		
的人的人的有量人(U			
担使チャート図	•		
温度チャート図	(耐熱試験チェックシートを添付する)		
温度チャート図	(耐熱試験チェックシートを添付する)(2) 耐熱試験前後の鮮明なカラー写真(プリント可)が、A4版の台		
温度チャート図	(耐熱試験チェックシートを添付する) (2) 耐熱試験前後の鮮明なカラー写真(プリント可)が、A4版の台 紙に貼付されているか。		
	(耐熱試験チェックシートを添付する)(2) 耐熱試験前後の鮮明なカラー写真(プリント可)が、A4版の台		
温度チャート図 12. その他	(耐熱試験チェックシートを添付する) (2) 耐熱試験前後の鮮明なカラー写真(プリント可)が、A4版の台 紙に貼付されているか。		
	(耐熱試験チェックシートを添付する) (2) 耐熱試験前後の鮮明なカラー写真(プリント可)が、A4版の台 紙に貼付されているか。		

耐熱形電磁接触器書類審査チェックシート (更新)

受付番号					確	認者:
申請者名					型式番号	
型式区分	(種別)		(]	区分)		
チェックの別	更新・自己	製造者形式				

項目	チェック内容	結果	指摘事項
〇 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 型式認定更新申請書		
	2. 取得済みの認定証書の写		
	3. 誓約書		
	4. 品質管理に関する説明書		
	5. 申請者の自主型式試験成績書		
	6. 外形図		
	7. 構造図及び主要部品材料表		
	8. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	9. 機器の種別と定格		
	10. 書類審査チェックシート(自己チェック)		
1. 型式認定	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
更新申請書	(2) 型式区分(種別・区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 型式番号が正しく記載されているか。		
	(4) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 取得済みの	認定証書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
認定書の写	また、有効期限に問題はないか。		
3. 誓約書	誓約書の記載内容に誤りはないか。		
4. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
	(3) 品質管理組織図には各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) 次の試験装置を所有しているか。		
	ア. 電圧調整器 100V 5A以上		
	イ. 電流調整器 400A以上、CT400/5A		
	ウ. 交流電圧計 150/300V 0.5 級以上		
	工. 交流電流計 5A 0.5級以上		
	オ. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上		
	カ. 絶縁抵抗計 DC500V		
	キ. 検電器 2000V用以上		
	ク. テスタ		
	ケ. 温度計、湿度計		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 品質管理に	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
関する説明書	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ. 社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ. 電気設備の技術基準		
	力. 内線規程		
	キ.消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集		
5. 申請者の自主	申請者の自主型式試験成績書が添付されているか。		
型式試験成績書	JIS C 8201-4-1 又は JEM 1038、に適合又は準拠していること。		
6. 外形図	(1) 図面(全般)においては、製図者、設計者、検図者、承認者の印		
	及び日付の記入がされているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日		
	付と確認者名が記入されているか。		
	なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(5) 認定証票の貼付位置が明示されているか。		
7. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
8. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア. 製造者名又は略号		
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:一種耐熱形又は二種耐熱形		一種耐熱又は二種
	ウ. 耐熱定格電流		耐熱でもよい
9. 機器の	「認定機器試験規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。		
種別と定格	ア. 型式区分 イ. 製造者形式 ウ. 定格使用電圧		
	工. 定格通電電流 才. 耐熱定格通電電流		
	カ. 操作回路の定格使用電圧 キ. 適合規格(適合する場合)		
10. 一部変更	一部変更や軽補正があった場合、その内容が図面等に反映されてい		
•軽補正	るか。		
11. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート			
12. その他			

耐熱形電磁継電器(コンタクタ形)書類審査チェックシート (新規)

受付番号					確認者:
申請者名					
型式区分	(種別) i	耐熱形電磁継電	 [記とり なり なり は は は な は な な な な な な な な な な な	(区分)	
チェックの別	新規・自己	製造者形式			

	項目	チェック内容	結果	指摘事項
0	申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
		(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
		1. 型式認定申請書		
		2. 取得済みの認定証書の写(認定試験一部省略の場合に添付)		
		3. 誓約書		
		4. 品質管理に関する説明書		
		5. 申請者の自主型式試験成績書		
		6. 外形図及び外観写真		
		7. 構造図及び主要部品材料表		
		8. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
		9. 機器の種別と定格		
		10. 書類審査チェックシート(自己チェック)		
		11. 自主耐熱試験成績書及び温度チャート(試験時の写真含む)		
1.	型式認定	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
	申請書	(2) 型式区分(種別・区分)が正しく記載されているか。		
		(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2.	取得済みの	認定証書の写は、認定試験一部省略に相当する内容のものであるか。		
	認定書の写	また、有効期限に問題はないか。		
3.	誓約書	記載内容に誤りはないか。		
4.	品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職 (部長職以上) であるか。		
	関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
		(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
		(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
		(5) 次の試験装置を所有しているか。		
		ア. 電圧調整器 100V 5A以上		
		イ. 電流調整器 400A以上、CT400/5A		
		ウ. 交流電圧計 150/300V 0.5級以上		
		工. 交流電流計 5A 0.5級以上		
		才. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上		
		カ. 絶縁抵抗計 DC500V		
		キ. 検電器 2000V用以上		
		ク. テスタ		
		ケ. 温度計、湿度計		

1名 日	工 、	分: 田	长 按 市 百
項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 品質管理に	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
関する説明書	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ. 社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準 		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ、電気設備の技術基準		
	力. 内線規程		
	キ. 消防法関係法令集		
1 -1 1 1	ク. 建築基準法関係法令集 		
5. 申請者の自主	試験成績書の内容に誤りはないか。		
型式試験成績書	JIS C 8201-5-1 に適合又は準拠していること。		
6. 外形図及び	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日		
外観写真	付が記入されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 認定証票(認定取得後)の貼付位置が明示されているか。		
	(5) 鮮明な外観のカラー写真(プリント可)がA4版の台紙に貼付		
	されているか。		
7. 構造図及び	主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	耐火又は耐熱構造は適切か。		
8. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア. 製造者名又は略号		
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:一種耐熱形又は二種耐熱形		一種耐熱又は二種
	ウ. 耐熱定格通電電流		耐熱でもよい
9. 機器の	「認定機器試験規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。		
種別と定格	ア. 型式区分 イ. 製造者形式 ウ. 定格電圧又は定格使用電圧		
	エ. 耐熱定格通電電流 オ. 操作回路の定格使用電圧		
	カ. 定格絶縁電圧 キ. 汚損度		
	ク. 適合規格 (JISC8201-5-1 に適合している場合)		
10. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート			
11. 自主耐熱試験	(1) 自主耐熱試験は「認定機器試験基準」及び JIS C 8201-5-1 に		
成績書及び	準拠して行われているか。		
温度チャート図	(耐熱試験チェックシートを添付する)		
	(2) 耐熱試験前後の鮮明なカラー写真(プリント可)が、A4版の台		
	紙に貼付されているか。		
	(3) チャート図、試験成績書に問題はないか。		
11. その他			

耐熱形電磁継電器(コンタクタ形)書類審査チェックシート (更新)

受付番号			確認者:			
申請者名					型式番号	
型式区分	(種別) 👖	耐熱形電磁継電	言器(コンタクタ形)	(区	分)	
チェックの別	更新・自己	製造者形式				

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA 4 綴じか。(用紙の最大はA3 サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 型式認定更新申請書 2. 取得済みの認定証書の写 3. 誓約書 4. 品質管理に関する説明書 5. 申請者の自主型式試験成績書 6. 外形図 7. 構造図及び主要部品材料表 8. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 9. 機器の種別と定格		
1. 型式認定 更新申請書	 10. 書類審査チェックシート(自己チェック) (1) 申請者の記載内容に誤りはないか。 (2) 型式区分(種別・区分)が正しく記載されているか。 (3) 型式番号が正しく記載されているか。 (4) 製造者形名が正しく記載されているか。 		
 取得済みの 認定書の写 	認定証書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。 また、有効期限に問題はないか。		
 誓約書 品質管理に関する説明書 	 誓約書の記載内容に誤りはないか。 (1) 品質管理責任者は管理職 (部長職以上)であるか。 (2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上)であるか。 (3) 品質管理組織図には各部門の体制図が記載されているか。 (4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。 (5) 次の試験装置を所有しているか。ア. 電圧調整器 100V 5A以上イ.電流調整器 400A以上、CT400/5Aウ.交流電圧計 150/300V 0.5級以上エ.交流電流計 5A 0.5級以上オ.耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上カ.絶縁抵抗計 DC500Vキ.検電器 2000V用以上ク.テスタケ.温度計、湿度計 		

- I		(+ H	长岭本石
項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 品質管理に	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
関する説明書	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ. 社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ、電気設備の技術基準		
	力、内線規程		
	キ. 消防法関係法令集		
- 由誌本の白子	ク. 建築基準法関係法令集 計算とはままの内容に記りはないなどはされている。		
5. 申請者の自主 型式試験成績書	試験成績書の内容に誤りはないか添付されているか。 JIS C 8201-5-1 に適合又は準拠していること。		
6. 外形図	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日		
	付が記入されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日		
	付と確認者名が記入されているか。		
	なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(5) 認定証票の貼付位置が明示されているか。		
7. 構造図及び主	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
8. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア. 製造者名又は略号		
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:一種耐熱形又は二種耐熱形		一種耐熱又は二種
	ウ. 耐熱定格通電電流		耐熱でもよい
9. 機器の	「認定機器試験規程」表2に掲げる次の事項が明記されているか。		
種別と定格	ア. 型式区分 イ. 製造者形式 ウ. 定格電圧又は定格使用電圧		
	エ. 耐熱定格通電電流 オ. 操作回路の定格使用電圧		
	カ. 定格絶縁電圧 キ. 汚損度		
	ク. 適合規格 (JISC8201-5-1 に適合している場合)		
10. 一部変更	一部変更や軽補正があった場合、その内容が図面等に反映されてい		
・軽補正	るか。		
11. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート			
12. その他			
		L	

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは一印を記入すること。

認定機器(OEM) 書類審査チェックシート (新規)

年	月	Е

受付番号			確認者:
申請者名			
型式区分	(種別)		(区分)
チェックの別	新規・自己	製造者形式	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 型式認定申請書		l
	2. 認定証書の写(製造元/OEM 元)		l
	3. 誓約書		l
	4. 品質管理に関する説明書及び品質保証体系図		l
	5. 外形図		l
	6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		l
	7. 機器の種別と定格		l
	8. 書類審査チェックシート(自己チェック)		
1. 型式認定	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
申請書	(2) 型式区分(種別・区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 製造元の	認定証書と申請書の内容に相違はないか。		l
認定証書の写	ア. 型式区分		l
	イ. 有効期限 (期限内であること。)		l
	ウ. その他		
3. 誓約書	記載内容に誤りはないか。		
4. 品質管理に関	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
する説明書及び	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
品質保証体系図	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		l
	ているか。		
	(5) 次の試験装置を所有しているか。		l
	ア. 電圧調整器 100V 5A以上		l
	イ. 電流調整器 400A以上、CT400/5A		l
	ウ. 交流電圧計 150/300V 0.5 級以上		l
	工. 交流電流計 5A 0.5級以上		l
	才. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上		l
	カ. 絶縁抵抗計 DC500V		l
	キ. 検電器 2000 V 用以上		l
	ク. テスタ , 、		l
	ケ. 温度計、湿度計		l
			l
			1
			1
			l
			1

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 品質管理に関	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
する説明書及び			
品質保証体系図	イ. 社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ.JIS及びJEM等における関係規格		
	オ. 電気設備の技術基準		
	力. 内線規程		
	キ.消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集		
	(7) 品質保証体系図には製造元と申請者の間に認定機器の受渡し等		
	が明確に記載されているか。		
	(8) 認定証票 (認定取得後) の貼付の工程が明確に記されているか。		
	(9) その他、記載内容に誤りはないか。		
5. 外形図	(1) 申請者の図面で、外形図が書かれているか。		
/ 1/1/2 1-4	(2) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日		
	付が記入されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(5) 認定証票 (認定取得後) の貼付位置が明示されているか。		
6. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア. 製造者名又は略号		
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示: 一種耐熱形又は二種耐熱形		一種耐熱又は二種
) (13.) (1.) [A.]	ウ. 耐熱定格電流又は耐熱定格通電電流		耐熱でもよい
	エ. 耐熱定格遮断容量(過電流保護器として遮断器を有するもの)		
7. 機器の	「認定機器試験規程」表2に掲げる関連事項が明記されているか。		
種別と定格			
8. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート			
9. その他			
	- 適工け○印 - 不適工け>印 - 該当ね1 け 印を記すするこし		

認定機器(OEM) 書類審査チェックシート (更新)

白	E. ,	月 E	

受付番号				確	認者:
申請者名				型式番号	
型式区分	(種別)		(区分)		
チェックの別	更新・自己	申請者形式			

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次によって		
	いるか。		
	1. 型式認定更新申請書		
	2. 自社及び製造元/OEM 元取得済み認定証書の写		
	3. 誓約書		
	4. 品質管理に関する説明書及び品質保証体系図		
	5. 外形図		
	6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	7. 機器の種別と定格		
	8. 書類審査チェックシート(自己チェック)		
1. 型式認定	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
更新申請書	(2) 型式区分(種別・区分)が正しく記載されているか。		
	(3) 型式番号が正しく記載されているか。		
	(4) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 自社及び製造	認定証書と申請書の内容に相違はないか。		
元の認定証書	ア. 自社の認定証書と更新申請書の型式区分		
の写	イ. 製造元の有効期限(期限内であること。)		
	ウ. 自社と製造元の認定証書の内容		
3. 誓約書	記載内容に誤りはないか。		
4. 品質管理に関	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
する説明書及び	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
品質保証体系図	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されて		
	いるか。		
	(5) 次の試験装置を所有しているか。		
	ア. 電圧調整器 100V 5A以上		
	イ. 電流調整器 400A以上、CT400/5A		
	ウ. 交流電圧計 150/300V 0.5級以上		
	工. 交流電流計 5A 0.5級以上		
	才. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上		
	力. 絶縁抵抗計 DC500V		
	キ. 検電器 2000V用以上		
	ク. テスタ		
	ケ. 温度計、湿度計		

- I		<i>(</i> + H	长校支车
項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 品質管理に関	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
する説明書及び	ア、耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
品質保証体系図	イ. 社内設計基準 カーサークを基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準		
	カ. 内線規程		
	キ. 消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令		
	(7) 品質保証体系図には製造元と申請者の間に認定機器の受渡し等		
	が明確に記載されているか。		
	(8) 認定証票 (認定取得後) の貼付の工程が明確に記されているか。		
	(9) その他、記載内容に誤りはないか。		
5. 外形図	(1) 申請者の図面で、外形図が書かれているか。		
9. 71717PA	(2) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日		
	付が記入されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(3) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日		
	付と確認者名が記入されているか。		
	なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(5) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(6) 認定証票の貼付位置が明示されているか。		
6. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア. 製造者名又は略号		
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示: 一種耐熱形又は二種耐熱形		一種耐熱又は二種
	ウ. 耐熱定格電流又は耐熱定格通電電流		耐熱でもよい
	エ. 耐熱定格遮断容量(過電流保護器として遮断器を有するもの		
7. 機器の	「認定機器試験規程」表2に掲げる関連事項が明記されているか。		
種別と定格			
8. 一部変更	一部変更や軽補正があった場合、その内容が図面等に反映されてい		
• 軽補正	るか。		
9. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート			
10. その他			
	I.		

耐火形表示灯書類審査チェックシート (新規)

年	日	F
—	Л	

受付番号			確認者:
申請者名			
型式区分	(種別) 耐火	形表示灯	
チェックの別	更新・自己	製造者形式	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 登録機器更新申請書		
	2. 品質管理に関する説明書		
	3. 申請者の自主型式試験成績書		
	4. 外形図及び外観写真		
	5. 構造図及び主要部品材料表		
	6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	7. 機器の種別と定格		
	8. 書類審査チェックシート		
	9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、		
	温度チャート (試験前後の写真を含む)		
1. 登録機器	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
更新申請書	(2) 型式区分 (種別) が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		
	ているか。		
	(5) 表示灯の検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ. 社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ. 電気設備の技術基準		
	力. 内線規程		
	キ.消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集		
	オ~クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
3. 申請者の自主	試験成績書の内容に誤りはないか。		
型式試験成績書	NECA C 8151 に適合又は準拠していること。		
4. 外形図及び	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び		
外観写真	日付が記入されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(3) レンズは表面より突出しているか。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 外形図及び	(4) 取付孔の径は 15mm以上のものか。		
外観写真	(5) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(6) 鮮明な外観のカラー写真 (プリント可) が、A4版の台紙に貼付		
	されているか。		
5. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
	(3) レンズは不燃性 (840 度耐熱試験で溶解しても燃えないもの) 又		
	は難燃性(自己消火性のもの)であるか。		
	(4) ホーロー抵抗その他著しい熱を伴う部品を使用していないか。		
6. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア.製造者名又は略号		
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:耐火形(耐火)		
7. 機器の	「登録機器申請審査規程」表 2 に掲げる次の内容が明記されている		
種別と定格			
	ア、種別 イ、製造者形式 ウ、定格使用電圧		
8. 書類審査	エ. 適合電球 オ. 適合規格(適合の場合) 確認者名及び日付が記入されているか		
8. 音頬番鱼 チェックシート	神田神心日 171 / 1		
9. 自主耐熱試験	 (1) 試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っているか。		
成績書	(2) 試験前後の写真(プリント可)が A4版の台紙に貼付されている		
	ħ ₀		
	(3) 加熱温度 (840 度耐熱温度曲線) に問題はないか。		
	(4) 840 度耐熱試験において、熱気流が侵入するようなすきまが		
	生じていないか。		
10. その他			

耐火形表示灯書類審査チェックシート (更新)

年	H	F
	Н	ш

受付番号			4	確認者:
申請者名			登録機器番号	
型式区分	(種別) 耐火	形表示灯		
チェックの別	更新・自己	製造者形式		

_			
項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 登録機器更新申請書		
	2. 取得済みの登録機器承認通知書の写		
	3. 品質管理に関する説明書		
	4. 申請者の自主型式試験成績書		
	5. 外形図		
	6. 構造図及び主要部品材料表		
	7. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	8. 機器の種別と定格		
	9. 書類審査チェックシート		
1. 登録機器	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
更新申請書	(2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 登録機器	承認通知書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
承認通知書			
3. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		
	ているか。		
	(5) 表示灯の検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ. 社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ.電気設備の技術基準		
	力. 内線規程		
	キ. 消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集		
4 由非状态点)	オ~クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
4. 申請者の自主	試験成績書の内容に誤りはないか。		
型式試験成績書	NECA C 8151 に適合又は準拠していること。		

項目	 チェック内容	結果	指摘事項
5. 外形図	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び		
	日付が記入されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した		
	日付と確認者名が記入されているか。		
	なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) レンズは表面より突出しているか。		
	(5) 取付孔の径は 15mm以上のものか。		
	(6) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
6. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
	(3) レンズは不燃性 (840 度耐熱試験で溶解しても燃えないもの)		
	又は難燃性(自己消火性のもの)であるか。		
	(4) ホーロー抵抗その他著しい熱を伴う部品を使用していないか。		
7. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア. 製造者名又は略号		
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:耐火形(耐火)		
8. 機器の	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の内容が明記されている		
種別と定格	ታ.		
	ア・種別 イ・製造者形式 ウ・定格使用電圧		
	エ. 適合電球 オ. 適合規格(適合の場合)		
9. 一部変更	一部変更や軽補正があった場合、その内容が図面等に反映されてい		
・軽補正	るか。 確認者名及び日付が記入されているか。		
10. 書類審査 チェックシート	作訟有名及の自刊が記入されているか。		
11. その他			
11. () / 匝			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは一印を記入すること。

耐火形扉用把手書類審査チェックシート (新規)

/ 		
年		E
_	/ 1	

受付番号			確認者:
申請者名			
型式区分	(種別) 耐火	形扉用把手	
チェックの別	新規・自己	製造者形式	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 登録機器申請書		
	2. 品質管理に関する説明書		
	3. 申請者の自主型式試験成績書		
	4. 外形図及び外観写真		
	5. 構造図及び主要部品材料表		
	6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	7. 機器の種別と定格		
	8. 書類審査チェックシート		
	9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、		
	温度チャート (試験前後の写真を含む)		
1. 登録機器	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
申請書	(2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		
	ているか。		
	(5) 把手を検査するに必要な試験装置が明記されているか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ. 社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ. 電気設備の技術基準		
	カ.内線規程		
	キ.消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集		
	オ~クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
3. 申請者の自主	試験成績書の内容に誤りはないか。		
型式試験成績書			

	7. h d #2	分田	长校束石
項 目 4. 外形図及び 外観写真	チェック内容 (1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 (最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)	結果	指摘事項
	(3) 把手は鍵 (キー) 付又はこれに類するものであるか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(5) 鮮明な外観のカラー写真がA4版(プリント可)の台紙に貼付 されているか。		
5. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
6. 表示(銘板)図、 表示サンプル	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又はその略号		
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:耐火(耐火形)		
7. 機器の	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されている		
種別と定格	か。 ア. 種別 イ. 製造者形名		
8. 書類審査	ででは、		
チェックシート	The distriction of the control of th		
9. 自主耐熱試験	(1) 試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っているか。		
成績書	(2) 試験前後の写真(プリント可)が A4 版の台紙に貼付されている		
	か。		
	(3) 加熱温度 (840 度耐熱温度曲線) に問題はないか。		
	(4) 試験後の機器は溶解等により、熱気流が侵入するようなすきま が生じていないか。		
10. その他			

耐火形扉用把手書類審査チェックシート (更新)

受付番号				確	認者:
申請者名				登録機器番号	
型式区分	(種別) 耐火形扉用把手				
チェックの別	更新・自己	製造者形名			

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 登録機器更新申請書		
	2. 取得済みの登録機器承認通知書の写		
	3. 品質管理に関する説明書		
	4. 申請者の自主型式試験成績書		
	5. 外形図		
	6. 構造図及び主要部品材料表		
	7. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	8. 機器の種別と定格		
	9. 書類審査チェックシート		
1. 登録機器	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
更新申請書	(2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が記載されているか。		
2. 登録機器	承認通知書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
承認通知書の写			
3. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		
	ているか。		
	(5) 把手を検査するに必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ. 社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ.JIS及びJEM等における関係規格		
	オ. 電気設備の技術基準		
	力. 内線規程		
	キ. 消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集		
	オークに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
4. 申請者の自主	試験成績書の内容に誤りはないか。		
型式試験成績書			

項目	チェック内容	結果	指摘事項
5. 外形図	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び		
	日付が記入されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した		
	日付と確認者名が記入されているか。		
	なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 把手は外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 鍵(キー)付又はこれに類するものであるか。		
	(5) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
6. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
7. 表示 {銘板} 図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア. 製造者名又はその略号		
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:耐火(耐火形)		
8. 機器の	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されてい		
種別と定格	るか。		
	ア、種別 イ、製造者形名		
9. 一部変更	一部変更や軽補正があった場合、その内容が図面等に反映されてい		
• 軽補正	るか。		
10. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート			
11. その他			
	- 第三は○印 - 不適正は>印 - 該当ね」は上印を記すすること		

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは-印を記入すること。

耐火形制御用スイッチ書類審査チェックシート (新規)

年	月	Е

受付番号			確認者:		
申請者名					
型式区分	(種別) 耐火形制御用スイッチ				
チェックの別	新規・自己	製造者形名			

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 登録機器申請書		
	2. 品質管理に関する説明書		
	3. 申請者の自主型式試験成績書		
	4. 外形図及び外観写真		
	5. 構造図及び主要部品材料表		
	6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	7. 機器の種別と定格		
	8. 書類審査チェックシート		
	9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、		
	温度チャート (試験前後の写真を含む)		
1. 登録機器	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
申請書	(2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		
	ているか。		
	(5) 制御用スイッチの検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ. 社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ. 電気設備の技術基準		
	力. 内線規程		
	キ.消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集		
	オ~クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
3. 申請者の自主	自主型式試験成績書の内容に誤りはないか。		
型式試験成績書	NECA C 4520、NECA C 4521、NECA C 4522、又は JIS C 8201-5-1 に		
	適合又は準拠していること。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 外形図及び 外観写真	 (1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 (最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要) (2) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。 (3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。 (4) 鮮明な外観のカラー写真(プリント可)がA4版の台紙に貼付されているか。 		
5. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
6. 表示(銘板)図、 表示サンプル 又は刻印図	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又はその略号 イ. 耐熱形である旨の表示:耐火形(耐火) ウ. 耐熱定格使用電流		
7. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表 2 に掲げる次の事項が明記されているか。 ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 定格絶縁電圧 エ. 定格使用電圧 オ. 定格通電電流 カ. 耐熱定格使用電流 キ。適合規格(適合の場合)		
8. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート9. 自主耐熱試験成績書	(1) 試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っているか。 (2) 試験前後の写真(プリント可)が A4 版の台紙に添付されているか。		
	(3) 加熱温度(840度耐熱温度曲線)に問題はないか。(4) 試験後の機器は、機能に影響を及ぼす変形等を生じていないか。		
	(5) 試験後の絶縁抵抗は、直流 500V絶縁抵抗計で測定した結果 が、0.4MΩ以上あるか。		
10. その他			

耐火形制御用スイッチ書類審査チェックシート (更新)

受付番号				確	認者:
申請者名			圣	登録機器番	
型式区分	(種別) 耐火形制御用スイッチ				
チェックの別	更新・自己	製造者形式			

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 登録機器更新申請書		
	2. 取得済みの登録機器承認通知書の写		
	3. 品質管理に関する説明書		
	4. 申請者の自主型式試験成績書		
	5. 外形図		
	6. 構造図及び主要部品材料表		
	7. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	8. 機器の種別と定格		
	9. 書類審査チェックシート		
1. 登録機器	(1) 申請者の記載事項に誤りはないか。		
更新申請書	(2) 型式区分 (種別) が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 登録機器	承認通知書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
承認通知書の写			
3. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職 (部長職以上) であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		
	ているか。		
	(5) 制御用スイッチの検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ. 社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ. 電気設備の技術基準		
	力. 内線規程		
	キ.消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集		
	オ~クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
4. 申請者の自主	自主型式試験成績書の内容に誤りはないか。		
型式試験成績書	NECA C 4520、NECA C 4521、NECA C 4522、JIS C 8201-5-1 に適合		
	又は準拠していること。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
5. 外形図	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び	₩ /\	以 本 阿 口
3. 7F///A	日付が記載されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した		
	日付と確認者名が記入されているか。		
	なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
6. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
7.表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア. 製造者名又はその略号		
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:耐火形(耐火)		
	ウ. 耐熱定格使用電流		
8. 機器の	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されてい		
種別と定格	るか。		
	ア、種別・イ・製造者形式・ウ・定格絶縁電圧		
	エ. 定格使用電圧 オ. 定格通電電流 カ. 耐熱定格使用電流		
9. 一部変更	キ。適合規格(適合の場合) 一部変更や軽補正があった場合、その内容が図面等に反映されてい		
9. 一部変更 ・軽補正	一部変更や軽相正があった場合、その内容が図面寺に反映されているか。		
10. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート			
11. その他			
	適正け○印 不適正け×印 該当かしけ=印を記入すること		

耐熱形過電流継電器書類審査チェックシート (新規)

年		
T-	Н	

受付番号			確認者:
申請者名			
型式区分	(種別)	耐熱形過電流	流継電器
チェックの別	新規・自己	製造者形名	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 登録機器申請書		
	2. 品質管理に関する説明書		
	3. 申請者の自主型式試験成績書		
	4. 外形図及び外観写真		
	5. 構造図及び主要部品材料表		
	6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	7. 機器の種別と定格		
	8. 書類審査チェックシート		
	9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、		
	温度チャート (試験前後の写真を含む)		
1. 登録機器	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
申請書	(2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		
	ているか。		
	(5) 過電流継電器の検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ.社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ. 電気設備の技術基準		
	カ、内線規程		
	キ. 消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集		
	オ~クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
3. 申請者の自主	自主型式試験成績書の内容に誤りはないか。		
型式試験成績書	JEM 1356 に適合又は準拠していること。		

-F		/4. H	
項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 外形図及び	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日		
外観写真	付が記入されているか。		
	(最低限、製図者が設計者及び検図者が承認者が必要)		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。 (4) 鮮明な外観のカラー写真(プリント可)がA4版の台紙に貼付さ		
	れているか。		
 5. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
6. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア. 製造者名又は略号		
又は刻印図	ア. 耐熱形である旨の表示:(一種耐熱形又は二種耐熱形)		一種耐熱又は二種
,,	イ. 主回路耐熱定格使用電流		耐熱でもよい
	口. 制御回路耐熱定格使用電流		-
7. 機器の	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されている		
種別と定格	$\dot{\mathcal{D}}_{\sigma}$		
	ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 整定電流範囲		
	エ. 主回路の定格絶縁電圧 オ. 主回路の耐熱定格使用電流		
	カ.制御回路の定格絶縁電圧 キ.制御回路の耐熱定格使用電流		
	ク. 適合規格 (適合の場合)		
 書類審査 チェックシート 	確認者名及び日付が記載されているか。		
9. 自主耐熱試験	(1) 耐熱試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っているか		
成績書	(2) 試験前後の写真 (プリント可) が A4 版の台紙に貼付されている		
	か。		
	(3) 加熱温度(280度耐熱温度曲線又は120度耐熱温度曲線)に問題		
	はないか。		
	(4) 試験後の機器は、280 度耐熱試験又は120 度耐熱試験において、 機能に影響を及ぼす変形等を生じていないか。		
	(5) 試験後の絶縁抵抗は、直流 500 V 絶縁抵抗計で測定した結果が、		
	0.4MΩ以上あるか。		
10. その他			
農夫 盆用棚には	- 海エは○印 - 太海エは▽印 - 数坐ね」は「印を記すするとし		·

耐熱形過電流継電器書類審査チェックシート (更新)

受付番号			確認者:		
申請者名				登録機器番号	
型式区分	(種別)	耐熱形過電流	流継電器		
チェックの別	更新・自己	製造者形式			

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器更新申請書 2. 取得済みの登録機器承認通知書の写 3. 品質管理に関する説明書 4. 申請者の自主型式試験成績書		
	 4. 申請者の自主型式試験成績書 5. 外形図 6. 構造図及び主要部品材料表 7. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 8. 機器の種別と定格 9. 書類審査チェックシート 		
1. 登録機器 更新申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。(2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 登録機器 承認通知書の写	承認通知書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
3. 品質管理に 関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。 (5) 過電流継電器の検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. JIS及びJEM等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集		
4. 申請者の自主 型式試験成績書	オ〜クに関しては、必要に応じて所有していればよい。 自主型式試験成績書の内容に誤りはないか。 JEM1356 に適合又は準拠していること。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
, , , , ,		加入	11 10 平 发
5. 外形図	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日 付が記入されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日		
	付と確認者名が記入されているか。		
	なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
6. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
7. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア. 製造者名又は略号		
又は刻印図	ア. 耐熱形である旨の表示:(一種耐熱形又は二種耐熱形)		一種耐熱又は二種
人的人们	イ. 主回路耐熱定格使用電流		耐熱でもよい
	口. 制御回路耐熱定格使用電流		1017/// 6 0 00 1
8. 機器の	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されている		
種別と定格	か。		
111/3/10/21	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
	エ. 主回路の定格絶縁電圧 オ. 主回路の耐熱定格使用電流		
	カ・制御回路の定格絶縁電圧 キ・制御回路の耐熱定格使用電流		
	ク. 適合規格(適合の場合)		
9. 一部変更	一部変更や軽補正があった場合、その内容が図面等に反映されてい		
・軽補正	るか。		
10. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート			
11. その他			

耐熱形タイマ書類審査チェックシート (新規)

受付番号			確認者:
申請者名			
型式区分	(種別)	耐熱形タイプ	₹
チェックの別	新規・自己	製造者形式	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
〇 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 登録機器申請書		
	2. 品質管理に関する説明書		
	3. 申請者の自主型式試験成績書		
	4. 外形図及び外観写真		
	5. 構造図及び主要部品材料表		
	6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	7. 機器の種別と定格		
	8. 書類審査チェックシート		
	9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、		
	温度チャート(試験前後の写真を含む)		
1. 登録機器	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
申請書	(2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		
	ているか。		
	(5) タイマの検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ. 社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ. 電気設備の技術基準		
	力. 内線規程		
	キ. 消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集		
0 4-3-4	オ~クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
3. 申請者の自主	試験成績書の内容に誤りはないか。		
型式試験成績書			

項目	チェック内容	結果	指摘事項
		和木	1月 1月 尹 垻
4. 外形図及び	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び		
外観写真	日付が記入されているか。 (是任限 制図学が記述学及び絵図学が承報学が立画)		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 鮮明な外観のカラー写真(プリント可)が A4 版の台紙に貼付さ		
「 ##`/牛!の T- *ド	れているか。		
5. 構造図及び 主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
6. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		任工耕力以一任
表示サンプル	ア・製造者名又は略号		一種耐熱又は二種
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:(一種耐熱形又は二種耐熱形)		耐熱でもよい
7. 機器の 種別と定格	「登録機器申請審査規程」表 2 に掲げる次の事項が明記されているか。		
1里加 6 足怕	ル・。 ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 定格電圧・定格周波数		
	エ. 時間表す数値及びその単位 オ。定格通電電流		
	カ. 適合規格(適合の場合)		
8. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート	THE E HOLD THE HEAVE THE CASE OF THE STATE O		
9. 自主耐熱試験	(1) 耐熱試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っているか		
成績書	(2) 試験前後の写真 (プリント可) が A4 版の台紙に貼付されている		
	$\dot{\mathcal{D}}$		
	(3) 加熱温度(280度耐熱温度曲線又は120度耐熱温度曲線)に		
	問題はないか。		
	(4) 試験後の機器は、280 度耐熱試験又は120 度耐熱試験におい		
	て、機能に影響を及ぼす変形等を生じていないか。		
	(5) 試験後の絶縁抵抗は、直流 500 V 絶縁抵抗計で測定した結果が、		
	0.4ΜΩ以上あるか。		
10. その他			
	- 適工は○印 - 不適工は>印 - 該坐み」は一印を記すすること	l	

耐熱形タイマ書類審査チェックシート (更新)

受付番号				確	認者:
申請者名				登録機器番号	
型式区分	(種別)	耐熱形タイ	7		
チェックの別	更新・自己	製造者形式			

項目	チェック内容	結果	指摘事項
〇 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 登録機器申請書		
	2. 取得済みの登録機器承認通知書の写		
	3. 品質管理に関する説明書		
	4. 申請者の自主型式試験成績書		
	5. 外形図		
	6. 構造図及び主要部品材料表		
	7. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	8. 機器の種別と定格		
	9. 書類審査チェックシート		
1. 登録機器	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
更新申請書	(2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 登録機器	承認通知書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
承認通知書の写			
3. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		
	ているか。		
	(5) タイマの検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ. 社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ.JIS及びJEM等における関係規格		
	オ、電気設備の技術基準		
	力. 内線規程		
	キ. 消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集		
4 由建老の白子	オークに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
4. 申請者の自主	試験成績書の内容に誤りはないか。		
型式試験成績書			

5. 外形図 (1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 (最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要) (2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日付と確認者名が記入されているか。 なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。	諸 事 項
付が記入されているか。 (最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要) (2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日 付と確認者名が記入されているか。 なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。	
(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要) (2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日 付と確認者名が記入されているか。 なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。	
(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日付と確認者名が記入されているか。 なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。	
付と確認者名が記入されているか。 なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。	
なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。	
(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。	
(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。	
(1) 全国 (1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。	
主要部品材料表 (2) 耐熱構造は適切か。	
(4) 103/10113/210/22/970	
7. 表示(銘板)図、表示には、次に掲げる事項が明記されているか。	品効 セルニ 呑
	耐熱又は二種 でもよい
8. 機器の 「登録機器申請審査規程」表 2 に掲げる次の事項が明記されている	6971
種別と定格 か。	
ア.種別:(一種又は二種耐熱形タイマ) イ.製造者形式	
ウ. 定格電圧・定格周波数 エ. 時間表す数値及びその単位	
オ、適合規格(適合の場合)	
9. 一部変更 一部変更や軽補正があった場合、その内容が図面等に反映されてい	
・軽補正 るか。	
10. 書類審査 確認者名及び日付が記入されているか。	
チェックシート	
11. その他	

耐熱形液面継電器書類審査チェックシート (新規)

年		
4	Н	F

受付番号			確認者:
申請者名			
型式区分	(種別)	耐熱形液面紅	继電器
チェックの別	新規・自己	製造者形式	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 登録機器申請書		
	2. 品質管理に関する説明書		
	3. 申請者の自主型式試験成績書		
	4. 外形図及び外観写真		
	5. 構造図及び主要部品材料表		
	6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	7. 機器の種別と定格		
	8. 書類審査チェックシート		
	9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、		
	温度チャート (試験前後の写真を含む)		
1. 登録機器	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
申請書	(2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		
	ているか。		
	(5) 液面継電器の検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
	ア・耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ、社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ、電気設備の技術基準		
	力. 内線規程		
	 キ.消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集		
	オ~クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
3. 申請者の自主	自主型式試験成績書の内容に誤りはないか。		
型式試験成績書			

		1	
項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 外形図及び	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日		
外観写真	付が記載されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に明記されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 鮮明な外観のカラー写真(プリント可)がA4版の台紙に貼付さ		
F #14 50 7 7 8	れているか。		
5. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
6. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		佐刀掛っいった
表示サンプル	ア、製造者名又は略号		一種耐熱又は二種
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:(一種又は二種耐熱形) 「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されている		耐熱でもよい
7. 機器の 種別と定格	「登跡機倫中請番組成性」衣とに拘りる次の事項が明記されている。		
性別と比恰	ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 定格電圧 エ. 定格通電電流		
8. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート			
9. 自主耐熱試験	(1) 耐熱試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っているか		
成績書	(2) 試験前後の写真 (プリント可) が A4 版の台紙に貼付されている		
	が。		
	(3) 加熱温度 (280 度耐熱温度曲線又は 120 度耐熱温度曲線) に問題		
	はないか。		
	(4) 試験後の機器は、280度耐熱試験又は120度耐熱試験において、		
	機能に影響を及ぼす変形等を生じていないか。		
	(5) 試験後の絶縁抵抗は、直流 500 V 絶縁抵抗計で測定した結果が、		
10 7 0 14	0.4ΜΩ以上あるか。		
10. その他			
// // // HE (BE)	適正け○印 不適正け∨印 該当かしけ」印を記入すること	I	

耐熱形液面継電器書類審査チェックシート (更新)

年	E.	月	Н
		/]	Н

受付番号				硝	選認者:
申請者名				登録機器番号	
型式区分	(種別)	耐熱形液面継	電器		
チェックの別	更新・自己	製造者形名			

項目	チェック内容	結果	指摘事項
		加木	1月 1响 尹 垻
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 登録機器更新申請書		
	2. 取得済みの登録機器承認通知書の写3. 品質管理に関する説明書		
	4. 申請者の自主型式試験成績書		
	5. 外形図		
	6. 構造図及び主要部品材料表		
	7. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	8. 機器の種別と定格		
	9. 書類審査チェックシート		
1. 登録機器	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
更新申請書	(2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 登録機器	承認通知書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
承認通知書の写			
3. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		
	ているか。		
	(5) 液面継電器の検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ. 社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ、電気設備の技術基準		
	カ、内線規程		
	キ. 消防法関係法令集ク. 建築基準法関係法令集		
	ク・ 産業基準伝関係伝り来 オ〜クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
4. 申請者の自主	自主型式試験成績書の内容に誤りはないか。		
型式試験成績書			

項目	チェック内容	結果	指摘事項
5. 外形図	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び	76217	314 314 3 21
0. 717/D	日付が記載されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した		
	日付と確認者名が記入されているか。		
	なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に明記されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
6. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
7. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア. 製造者名又は略号		一種耐熱又は二種
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:(一種又は二種耐熱形)		耐熱でもよい
8. 機器の	「登録機器申請審査規程」表 2 に掲げる次の事項が明記されている		
種別と定格	か。		
	ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 定格電圧 エ. 定格通電電流		
9. 一部変更	一部変更や軽補正があった場合、その内容が図面等に反映されてい		
・軽補正	るか。		
10. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート			
11. その他			
l			

耐熱形整流器書類審査チェックシート (新規)

年	H	F
—	Л	

受付番号			確認者:
申請者名			
型式区分	(種別)	耐熱形整流器	器
チェックの別	新規・自己	製造者形式	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
〇 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 登録機器申請書		
	2. 品質管理に関する説明書		
	3. 申請者の自主型式試験成績書		
	4. 外形図及び外観写真		
	5. 構造図及び主要部品材料表		
	6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	7. 機器の種別と定格		
	8. 書類審査チェックシート		
	9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、		
	温度チャート (試験前後の写真を含む)		
1. 登録機器	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
申請書	(2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		
	ているか。		
	(5) 整流器の検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ. 社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ. 電気設備の技術基準		
	力. 内線規程		
	キ.消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集		
	オ~クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
3. 申請者の自主	試験成績書の内容に誤りはないか。		
型式試験成績書	JEITA ED-4511Aに適合又は準拠していること。		

-F 1		/4. III	
項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 外形図及び	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び		
外観写真	日付が記入されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に明記されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 鮮明な外観のカラー写真(プリント可)が A4 版の台紙に貼付さ		
	れているか。		
5. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
6. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア. 製造者名又は略号		一種耐熱又は二種
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:(一種又は二種耐熱形)		耐熱でもよい
7. 機器の	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されてい		
種別と定格	るか。 - 15日 (
	ア、種別・イ、製造者形式		
	ウ、最大許容回路電圧及び耐熱定格最大許容回路電圧		
	エ、定格平均順電流及び耐熱定格平均順電流(連続・短時間)		
8. 書類審査	オ. 適合規格(適合の場合)		
6. 青頬番鱼 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
9. 自主耐熱試験	(1) 耐熱試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っているか		
成績書	(2) 試験前後の写真 (プリント可) が A4 版の台紙に貼付されている		
/火/(東 目	(2) 試験削後の子具 (ノサンド明) が A4 版の自私に貼りされているか。		
	(3) 加熱温度 (280 度耐熱温度曲線又は 120 度耐熱温度曲線) に 問題はないか。		
	(4) 試験後の機器は、280度耐熱試験又は120度耐熱試験において、 機能に影響を及ぼす変形等を生じていないか。		
	(5) 試験後の絶縁抵抗は、直流 500 V 絶縁抵抗計で測定した結果が、		
	0.4ΜΩ以上あるか。		
10. その他			
供去 外田棚には			

耐熱形整流器書類審査チェックシート (更新)

受付番号			確認者:			
申請者名				登録機器番号		
型式区分	(種別)	耐熱形整流	器			
チェックの別	更新・自己	製造者形式				

項目	チェック内容	結果	指摘事項
		和未	14 1
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器申請書 2. 取得済みの登録機器承認通知書の写 3. 品質管理に関する説明書 4. 申請者の自主型式試験成績書 5. 外形図 6. 構造図及び主要部品材料表 7. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 8. 機器の種別と定格		
	9. 書類審査チェックシート		
1. 登録機器 更新申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。(2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 登録機器 承認通知書の写	承認通知書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
3. 品質管理に関する説明書	 (1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。 (2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。 (3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。 (4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。 (5) 整流器の検査に必要な試験装置が明記してあるか。 (6) 次の規格基準類を所有しているか。ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引イ. 社内設計基準ウ. 社内検査基準エ. JIS及びJEM等における関係規格オ. 電気設備の技術基準カ. 内線規程キ. 消防法関係法令集ク. 建築基準法関係法令集ク. 建築基準法関係法令集オ〜クに関しては、必要に応じて所有していればよい。 		
4. 申請者の自主 型式試験成績書	試験成績書の内容に誤りはないか。 JEITA ED-4511A に適合又は準拠していること。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
5. 外形図		加木	1月 1前 尹 埙
5. 外形区	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び 日付が記入されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した		
	日付と確認者名が記入されているか。		
	なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
 6. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
7. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
1. 表示(郵板) 凶、 表示サンプル	ア. 製造者名又は略号		一種耐熱又は二種
又は刻印図	7. 級坦有石スはWiff 5 イ. 耐熱形である旨の表示:(一種又は二種耐熱形)		耐熱でもよい
8. 機器の	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されている		In 1 W. C O P A .
0. 1機舶の 種別と定格	「豆」が「放命中間番目が住」 衣 2 に物り るびの手項が切乱されているか。		
1774 C VC III	~。 ア. 種別		
	イ.製造者形式		
	ウ. 最大許容回路電圧及び耐熱定格最大許容回路電圧		
	エ. 定格平均順電流及び耐熱定格平均順電流(連続・短時間)		
	才. 適合規格 (適合の場合)		
9. 一部変更	一部変更や軽補正があった場合、その内容が図面等に反映されてい		
• 軽補正	るか。		
10. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート			
11. その他			
M - / L per (M)	適正け○印 不適正け×印 該当なしけー印を記入すること		

耐熱形変流器書類審査チェックシート (新規)

左	H	
年	刀	

受付番号			確認者:
申請者名			
型式区分	(種別)	耐熱形変流	器
チェックの別	新規・自己	製造者形式	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 登録機器申請書		
	2. 品質管理に関する説明書		
	3. 申請者の自主型式試験成績書		
	4. 外形図及び外観写真		
	5. 構造図及び主要部品材料表		
	6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	7. 機器の種別と定格		
	8. 書類審査チェックシート		
	9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、		
	温度チャート (試験前後の写真を含む)		
1. 登録機器	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
申請書	(2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		
	ているか。		
	(5) 変流器の検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ、社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ. 電気設備の技術基準		
	力. 内線規程		
	キ. 消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集		
	オ~クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
3. 申請者の自主	試験成績書の内容に誤りはないか。		
型式試験成績書	JIS C 1731-1 に適合又は準拠していること。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 外形図及び	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日	州木	11 11
外観写真	付が記入されているか。		
7119632	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 鮮明な外観のカラー写真(プリント可)がA4版の台紙に貼付され		
	ているか。		
5. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
6. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア. 製造者名又は略号		一種耐熱又は二種
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:(一種又は二種耐熱形)		耐熱でもよい
7. 機器の	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されてい		
種別と定格	るか。		
	ア、種別 イ、製造者形式		
	ウ. 定格一次電流及び定格二次電流		
	エ、定格周波数 オ、定格出力とそれに相当する確度階級		
	カ、最高電圧 キ、定格絶縁レベル ク、定格熱的耐電流		
8. 書類審査	ケ. 定格負担 コ. 適合規格(適合の場合) 確認者名及び日付が記入されているか。		
5. 音频番重 チェックシート	神田心有石及の自己が一記人ですが、		
9. 自主耐熱試験	(1) 耐熱試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っているか		
成績書	(2) 試験前後の写真(プリント可)が A4版の台紙に貼付されている		
	か。		
	(3) 加熱温度 (280度耐熱温度曲線又は120度耐熱温度曲線) に		
	問題はないか。		
	(4) 試験後の機器は、280度耐熱試験又は120度耐熱試験におい		
	て、機能に影響を及ぼす変形等を生じていないか。		
	(5) 試験後の絶縁抵抗は、直流 500 V 絶縁抵抗計で測定した結果が、		
	0.4ΜΩ以上あるか。		
10. その他			
	- 適正け○印 - 不適正け>印 - 該当ね1 け 印を記すすること		

備考 結果欄には、適正は \bigcirc 印、不適正はimes印、該当なしは-印を記入すること。

耐熱形変流器書類審査チェックシート (更新)

受付番号			確認者:		
申請者名				登録機器番号	
型式区分	(種別)	耐熱形変流器	器		
チェックの別	更新・自己	製造者形式			

項目	チェック内容	結果	指摘事項
〇 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 登録機器申請書		
	2. 取得済みの登録機器承認通知書の写		
	3. 品質管理に関する説明書		
	4. 申請者の自主型式試験成績書		
	5. 外形図		
	6. 構造図及び主要部品材料表		
	7. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	8. 機器の種別と定格		
4 36 V3 T86 00	9. 書類審査チェックシート		
1. 登録機器	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。	1	
更新申請書	(2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。	+ +	
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 登録機器	承認通知書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
承認通知書の写	() The section of th	1	
3. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		
	ているか。		
	(5) 変流器の検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ、社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	才. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程		
	カ. 門縁続性 キ. 消防法関係法令集		
	7. 相の伝例床伝り果ク. 建築基準法関係法令集		
	プ・足来至年仏房が仏り来 オ〜クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
4. 申請者の自主	試験成績書の内容に誤りはないか。	† †	
型式試験成績書	JIS C 1731-1 に適合又は準拠していること。		

75 口	T 17 th to	分田	松 英 東
項目	チェック内容	結果	指摘事項
5. 外形図	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び		
	日付が記入されているか。 (最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(取込成、衆凶有が設計有及び領凶有が承認有が必要) (2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した		
	(2) 図面には、取利成の「認定の子句」に適合しているが確認した 日付と確認者名が記入されているか。		
	なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
 6. 構造図及び			
主要部品材料表	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
	(2) 耐熱構造は適切か。		
7. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		任不はカラルマ任
表示サンプル	ア. 製造者名又は略号		一種耐熱又は二種
は刻印図 8. 機器の	イ. 耐熱形である旨の表示:(一種又は二種耐熱形) 「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されてい		耐熱でもよい
8. 機器の 種別と定格	「登鋏機器甲請番貨規程」衣とに掲げる次の事項が明記されているか。		
1里加 6 足怕	- プル・。 - ア. 種別		
	イ. 製造者形式		
	ウ. 定格一次電流及び定格二次電流		
	エ. 定格周波数 オ. 定格出力とそれに相当する確度階級		
	カ. 最高電圧 キ. 定格絶縁レベル ク. 定格熱的耐電流		
	ケ. 定格負担 コ. 適合規格(適合の場合)		
9. 一部変更	一部変更や軽補正があった場合、その内容が図面等に反映されてい		
・軽補正	るか。		
10. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート			
11. その他			
进来 公田棚)では			

耐熱形制御用変圧器書類審査チェックシート (新規)

年	H	
-	Л	\vdash

受付番号			確認者:
申請者名			
型式区分	(種別)	耐熱形制御	用変圧器
チェックの別	新規・自己	製造者形式	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 登録機器申請書		
	2. 品質管理に関する説明書		
	3. 申請者の自主型式試験成績書		
	4. 外形図及び外観写真		
	5. 構造図及び主要部品材料表		
	6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	7. 機器の種別と定格		
	8. 書類審査チェックシート		
	9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、		
	温度チャート (試験前後の写真を含む)		
1. 登録機器	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
申請書	(2) 型式区分 (種別) が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		
	ているか。		
	(5) 制御用変圧器の検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ. 社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ. 電気設備の技術基準		
	カ.内線規程		
	キ.消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集		
	オ~クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
3. 申請者の自主	試験成績書の内容に誤りはないか。		
型式試験成績書	JIS C 5310 又は JIS C 6436 に適合又は準拠していること。		

項目	 チェック内容	結果	指摘事項
4. 外形図及び	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び	MHZIC	11 114 1. 2
外観写真	日付が記入されているか。		
7 1 Pag 3 7 1	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に明記されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 鮮明な外観のカラー写真(プリント可)が A4 版の台紙に貼付さ		
	れているか。		
5. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
6. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア. 製造者名又は略号		
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:(一種又は二種耐熱形)		一種耐熱又は二種
	ウ. 耐熱定格二次電流		耐熱でもよい
7. 機器の	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されている		
種別と定格	か。		
	ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 定格一次電圧		
	工. 定格二次電圧 才. 定格周波数 カ. 定格二次電流		
	キ. 耐熱定格二次電流 ク. 定格容量		
	ケ. 適合規格(適合の場合)		
8. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート			
9. 自主耐熱試験	(1) 耐熱試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っている		
成績書	<i>h</i>		
	(2) 試験前後の写真 (プリント可) が A4 版の台紙に貼付されている か。		
	(3) 加熱温度(280度耐熱温度曲線又は120度耐熱温度曲線)に		
	問題はないか。		
	(4) 試験後の機器は、280 度耐熱試験又は120 度耐熱試験におい		
	て、機能に影響を及ぼす変形等を生じていないか。		
	(5) 試験後の絶縁抵抗は、直流 500 V 絶縁抵抗計で測定した結果が、		
	0.4ΜΩ以上あるか。		
10. その他			
備者 結果欄にけ	適正は○印 不適正は×印 該当かしは-印を記入すること。		

耐熱形制御用変圧器書類審査チェックシート (更新)

受付番号				確	認者;
申請者名				登録機器番号	
型式区分	(種別) 耐熱形制御用変		用変圧器		
チェックの別	更新・自己	製造者形式			

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 登録機器申請書		
	2. 取得済みの登録機器承認通知書の写		
	3. 品質管理に関する説明書		
	4. 申請者の自主型式試験成績書		
	5. 外形図		
	6. 構造図及び主要部品材料表		
	7. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	8. 機器の種別と定格		
	9. 書類審査チェックシート		
1. 登録機器	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
更新申請書	(2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 登録機器	承認通知書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
承認通知書の写			
3. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職 (部長職以上) であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		
	ているか。		
	(5) 制御用変圧器の検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ. 社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ. 電気設備の技術基準		
	力. 内線規程		
	キ. 消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集		
and the state of t	オ~クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
4. 申請者の自主	試験成績書の内容に誤りはないか。		
型式試験成績書	JIS C 5310 又は JIS C 6436 に適合又は準拠していること。		

項 目	チェック内容	結果	指摘事項
5. 外形図	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び	AHZIT	111 111 1
o. 71712E	日付が記入されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した		
	日付と確認者名が記入されているか。		
	なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
6. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
7. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア. 製造者名又は略号		
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:(一種又は二種耐熱形)		一種耐熱又は二種
) (10) (1) [ウ. 耐熱定格二次電流		耐熱でもよい
8. 機器の	「登録機器申請審査規程」表 2 に掲げる次の事項が明記されている		
種別と定格	か。		
,	ア、種別 イ、製造者形式 ウ、定格一次電圧		
	エ. 定格二次電圧 オ. 定格周波数 カ. 定格二次電流		
	キ. 耐熱定格二次電流 ク. 定格容量		
	ケ. 適合規格(適合の場合)		
9. 一部変更	一部変更や軽補正があった場合、その内容が図面等に反映されてい		
• 軽補正	るか。		
10. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート			
11. その他			

耐熱形表示灯用変圧器書類審査チェックシート (新規)

E	Ę,	月 E	Ξ

受付番号			確認者:
申請者名			
型式区分	(種別)	耐熱形表示灯	「用変圧器
チェックの別	新規・自己	製造者形式	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 登録機器申請書		
	2. 品質管理に関する説明書		
	3. 申請者の自主型式試験成績書		
	4. 外形図及び外観写真		
	5. 構造図及び主要部品材料表		
	6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	7. 機器の種別と定格		
	8. 書類審査チェックシート		
	9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、		
. → A¬ IVA BB	温度チャート(試験前後の写真を含む)		
1. 登録機器	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
申請書	(2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		
	ているか。		
	(5) 表示灯用変圧器の検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ、社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ、電気設備の技術基準		
	力. 內線規程		
	キ. 消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集 オ〜クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
3. 申請者の自主	試験成績書の内容に誤りはないか。		
型式試験成績書	PNOX/AAR 自 V/ F1 AT (C IDX) T は A X Y A Y S		
主人的人人人人			

項 目 チェック内容 結果 指摘 項 4. 外形図及び 外観写真 (1) 図面 (全般) には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び 日付が記入されているか。 (最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要) (2) 外形、取付け寸法、形状が明確に明記されているか。 (3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。 (4) 鮮明な外観のカラー写真(プリント可)が A4 版の台紙に貼付されているか。 (1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。 (2) 耐熱構造は適切か。 表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号 一種耐熱又	护 垻
外観写真 日付が記入されているか。 (最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要) (2) 外形、取付け寸法、形状が明確に明記されているか。 (3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。 (4) 鮮明な外観のカラー写真(プリント可)が A4 版の台紙に貼付されているか。 5. 構造図及び 主要部品材料表 (1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。 5.表示(銘板)図、表示には、次に掲げる事項が明記されているか。	
(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要) (2) 外形、取付け寸法、形状が明確に明記されているか。 (3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。 (4) 鮮明な外観のカラー写真(プリント可)が A4 版の台紙に貼付されているか。 5. 構造図及び (1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。 主要部品材料表 (2) 耐熱構造は適切か。 6.表示(銘板)図、表示には、次に掲げる事項が明記されているか。	
(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に明記されているか。 (3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。 (4) 鮮明な外観のカラー写真(プリント可)が A4 版の台紙に貼付されているか。 5. 構造図及び (1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。 主要部品材料表 (2) 耐熱構造は適切か。 6.表示(銘板)図、表示には、次に掲げる事項が明記されているか。	
(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。 (4) 鮮明な外観のカラー写真(プリント可)が A4 版の台紙に貼付されているか。 5. 構造図及び (1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。 主要部品材料表 (2) 耐熱構造は適切か。 6.表示(銘板)図、表示には、次に掲げる事項が明記されているか。	
(4) 鮮明な外観のカラー写真(プリント可)が A4 版の台紙に貼付されているか。 5. 構造図及び (1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。 主要部品材料表 (2) 耐熱構造は適切か。 6. 表示(銘板)図、表示には、次に掲げる事項が明記されているか。	
れているか。 5. 構造図及び (1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。 主要部品材料表 (2) 耐熱構造は適切か。 6. 表示(銘板)図、表示には、次に掲げる事項が明記されているか。	
5. 構造図及び (1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。 主要部品材料表 (2) 耐熱構造は適切か。 6. 表示(銘板)図、表示には、次に掲げる事項が明記されているか。	
主要部品材料表 (2) 耐熱構造は適切か。 6.表示(銘板)図、表示には、次に掲げる事項が明記されているか。	
6. 表示(銘板)図、表示には、次に掲げる事項が明記されているか。	
表示サンプル ア. 製造者名又は略号 一種耐熱又	
又は刻印図 イ. 耐熱形である旨の表示: (一種又は二種耐熱形) 耐熱でもよ	<i>V</i> \
7. 機器の 「登録機器申請審査規程」表 2 に掲げる次の事項が明記されている	
種別と定格が。	
ア、種別・イ・製造者形式・ウ・定格一次電圧	
工. 定格二次電圧 才. 定格容量	
8. 書類審査 確認者名及び日付が記入されているか。	
チェックシート	
9. 自主耐熱試験 (1) 耐熱試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っている 成績書 か	
か。	
(3) 加熱温度 (280 度耐熱温度曲線又は 120 度耐熱温度曲線) に	
問題はないか。	
(4) 試験後の機器は、280度耐熱試験又は120度耐熱試験におい	
て、機能に影響を及ぼす変形等を生じていないか。	
(5) 試験後の絶縁抵抗は、直流 500 V 絶縁抵抗計で測定した結果が、	
0.4ΜΩ以上あるか。	
10. その他	

耐熱形表示灯用変圧器書類審査チェックシート (更新)

受付番号				確	認者:
申請者名				登録機器番号	
型式区分	(種別)	耐熱形表示煩	丁用変圧器		
チェックの別	更新・自己	製造者形式			

(1) 申請書及び図書類はA4級じか。(用紙の最大はA3サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 (3) 登録機器申請書 (4) 取得済みの登録機器承認通知書の写 (5) 品質管理に関する説明書 (6) 申請者の自主型式試験成績書 (6) 特造図及び主要部品材料表 (7) 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 (8) 機器の種別と定格 (9) 書類審査チェックシート		
 申請者の自主型式試験成績書 外形図 構造図及び主要部品材料表 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 機器の種別と定格 書類審査チェックシート 		
l) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。 3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
認通知書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
2) 品質管理責任者は管理職 (部長職以上) であるか。 2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
お 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。お 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
5)表示灯用変圧器の検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
3) 次の規格基準類を所有しているか。ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引イ. 社内設計基準ウ. 社内検査基準エ. JIS及びJEM等における関係規格		
オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 ~クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
キク	F. 消防法関係法令集 7. 建築基準法関係法令集	F. 消防法関係法令集7. 建築基準法関係法令集 -クに関しては、必要に応じて所有していればよい。

項目	チェック内容	結果	 指 摘 事 項
5. 外形図	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び	和不	11 11
5. 9F/I/O/G	日付が記入されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した		
	日付と確認者名が記入されているか。		
	なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
6. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
7. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア. 製造者名又は略号		一種耐熱又は二種
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:(一種又は二種耐熱形)		耐熱でもよい
8. 機器の	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されている		
種別と定格	か。 ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 定格一次電圧		
	工. 定格二次電圧 才. 定格容量		
9. 一部変更	一部変更や軽補正があった場合、その内容が図面等に反映されてい		
•軽補正	るか。		
10. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート			
11. その他			

耐熱形ヒューズホルダ書類審査チェックシート (新規)

受付番号			確認者:
申請者名			
型式区分	(種別)	耐熱形ヒユー	ーズホルダ
チェックの別	新規・自己	製造者形式	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
〇 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 登録機器申請書		
	2. 品質管理に関する説明書		
	3. 申請者の自主型式試験成績書		
	4. 外形図及び外観写真		
	5. 構造図及び主要部品材料表		
	6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	7. 機器の種別と定格		
	8. 書類審査チェックシート		
	9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、		
	温度チャート(試験前後の写真を含む)		
1. 登録機器	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
申請書	(2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		
	ているか。		
	(5) ヒューズホルダの検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ. 社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ. 電気設備の技術基準		
	力. 内線規程		
	キ. 消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集		
0 444-41	オークに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
3. 申請者の自主	試験成績書の内容に誤りはないか。		
型式試験成績書	JIS C 8314 に適合又は準拠していること。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 外形図及び	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び	かロント	77 Y MI DI
外観写真	日付が記入されているか。		
7 1 19G 3 2 C	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に明記されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 鮮明な外観のカラー写真(プリント可)が A4 版の台紙に貼付さ		
	れているか。		
5. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
6. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア. 製造者名又は略号		
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:(一種又は二種耐熱形)		一種耐熱又は二種
	ウ. 耐熱定格電流		耐熱でもよい
7. 機器の	「登録機器申請審査規程」表 2 に掲げる次の事項が明記されている		
種別と定格	か。		
	ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 定格電圧 エ. 耐熱定格電流		
	オ. 適合電線 カ. 適合規格(適合の場合)		
8. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート			
9. 自主耐熱試験 成績書	(1) 耐熱試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っている か		
	(2) 試験前後の写真 (プリント可) が A4 版の台紙に貼付されているか。		
	(3) 加熱温度 (280 度耐熱温度曲線又は 120 度耐熱温度曲線) に 問題はないか。		
	(4) 試験後の機器は、280 度耐熱試験又は120 度耐熱試験において、機能に影響を及ぼす変形等を生じていないか。		
	(5) 試験後の絶縁抵抗は、直流 500V絶縁抵抗計で測定した結果が、 0.4MQ以上あるか。		
10. その他			
// // // // // // // // // // // // //	- 適正け○印 不適正け×印 該当かしけ—印を記入すること	l	

耐熱形ヒューズホルダ書類審査チェックシート (更新)

受付番号				確	認者:
申請者名				登録機器番号	
型式区分	(種別)	耐熱形ヒユー	ーズホルダ		
チェックの別	更新・自己	製造者形式			

項目	チェック内容	結果	指摘事項
〇 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 登録機器申請書		
	2. 取得済みの登録機器承認通知書の写		
	3. 品質管理に関する説明書		
	4. 申請者の自主型式試験成績書		
	5. 外形図		
	6. 構造図及び主要部品材料表		
	7. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	8. 機器の種別と定格		
	9. 書類審査チェックシート		
1. 登録機器	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
更新申請書	(2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 登録機器	承認通知書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
承認通知書の写			
3. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		
	ているか。		
	(5) ヒューズホルダの検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ. 社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ.電気設備の技術基準		
	力. 内線規程		
	キ. 消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集		
4 由注述の点子	オークに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
4. 申請者の自主	試験成績書の内容に誤りはないか。		
型式試験成績書	JIS C 8314 に適合又は準拠していること。 		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
5. 外形図	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び	かロント	11 10 7 7
0. 7F/I/A	日付が記入されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した		
	日付と確認者名が記入されているか。		
	なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
6. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
7. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア. 製造者名又は略号		
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:(一種又は二種耐熱形)		一種耐熱又は二種
7 3.13 3.1	ウ. 耐熱定格電流		耐熱でもよい
8. 機器の	「登録機器申請審査規程」表 2 に掲げる次の事項が明記されている		
種別と定格	カ ₃ 。		
	ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 定格電圧 エ. 耐熱定格電流		
	オ. 適合電線 カ. 適合規格 (適合の場合)		
9. 一部変更	一部変更や軽補正があった場合、その内容が図面等に反映されてい		
• 軽補正	るか。		
10. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート			
11. その他			

耐熱形端子台書類審査チェックシート (新規)

年	H	
+-	Л	

受付番号			確認者:
申請者名			
型式区分	(種別)	耐熱形端子·	台
チェックの別	新規・自己	製造者形式	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 登録機器申請書		
	2. 品質管理に関する説明書		
	3. 申請者の自主型式試験成績書		
	4. 外形図及び外観写真		
	5. 構造図及び主要部品材料表		
	6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	7. 機器の種別と定格		
	8. 書類審査チェックシート		
	9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、		
	温度チャート (試験前後の写真を含む)		
1. 登録機器	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
申請書	(2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		
	ているか。		
	(5) 端子台の検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ. 社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ. 電気設備の技術基準		
	力. 内線規程		
	キ.消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集		
	オ~クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
3. 申請者の自主	試験成績書の内容に誤りはないか。		
型式試験成績書	JIS C 2811 に適合又は準拠していること。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 外形図及び	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び	かロント	7. 4 MI 11
外観写真	日付が記入されているか。		
71 Bu 3 24	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に明記されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 鮮明な外観のカラー写真(プリント可)が A4 版の台紙に貼付さ		
	れているか。		
5. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
6. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア. 製造者名又は略号		
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:(一種又は二種耐熱形)		一種耐熱又は二種
	ウ. 耐熱定格電流		耐熱でもよい
7. 機器の	「登録機器申請審査規程」表 2 に掲げる次の事項が明記されている		
種別と定格	か。		
	ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 定格絶縁電圧 エ. 定格電流		
	オ. 耐熱定格電流 カ. 極数 キ. 適合規格(適合の場合)		
8. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート	/ 1 \ エよホホーラムトトム ハユ 「ム# ソト エフ マクルム ムケ) ァ 目目 - トッ 甘 ※ た / デ - ・ グ) 、フ		
9. 自主耐熱試験 成績書	(1) 耐熱試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っている か		
	(2) 試験前後の写真 (プリント可) が A4 版の台紙に貼付されているか。		
	(3) 加熱温度 (280 度耐熱温度曲線又は 120 度耐熱温度曲線) に 問題はないか。		
	(4) 試験後の機器は、280 度耐熱試験又は120 度耐熱試験において、機能に影響を及ぼす変形等を生じていないか。		
	(5) 試験後の絶縁抵抗は、直流 500V絶縁抵抗計で測定した結果が、 0.4MΩ以上あるか。		
10. その他			
// // // // // // // // // // // // //	適正け○印 不適正け×印 該当かしけ—印を記入すること	l	

耐熱形端子台書類審査チェックシート (更新)

年	H	
-	Л	\vdash

受付番号				確	認者:
申請者名				登録機器番号	
型式区分	(種別)	耐熱形端子	台		
チェックの別	更新・自己	製造者形式			

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 登録機器申請書		
	2. 取得済みの登録機器承認通知書の写		
	3. 品質管理に関する説明書		
	4. 申請者の自主型式試験成績書		
	5. 外形図		
	6. 構造図及び主要部品材料表		
	7. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	8. 機器の種別と定格		
	9. 書類審査チェックシート		
1. 登録機器	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
更新申請書	(2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 登録機器	承認通知書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
承認通知書の写			
3. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		
	ているか。		
	(5) 端子台の検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ. 社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ、電気設備の技術基準		
	力、内線規程		
	キ. 消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集		
4. 申請者の自主	オ〜クに関しては、必要に応じて所有していればよい。 試験成績書の内容に誤りはないか。		
4. 申請者の自主 型式試験成績書	NECA C 2811 に適合又は準拠していること。		
主八代釈风积青	NEOV 0 7011 (C個日文)(4中)(20 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		

項目	 チェック内容	結果	指摘事項
5. 外形図	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び	WH >IC	11 16 7 7
0. 7P/I/A	日付が記入されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した		
	日付と確認者名が記入されているか。		
	なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
6. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
7. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア. 製造者名又は略号		
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:(一種又は二種耐熱形)		一種耐熱又は二種
7 1139 137 1	ウ. 耐熱定格電流		耐熱でもよい
8. 機器の	「登録機器申請審査規程」表 2 に掲げる次の事項が明記されている		-
種別と定格	φ ₁ °		
	ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 定格絶縁電圧 エ. 定格電流		
	オ. 耐熱定格電流 カ. 極数 キ. 適合規格 (適合の場合)		
9. 一部変更	一部変更や軽補正があった場合、その内容が図面等に反映されてい		
・軽補正	るか。		
10. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート			
11. その他			
	- 第三は○印 - 不適正は◇印 - 該坐ね」は「印む記すすること	l	

耐熱形制御用スイッチ書類審査チェックシート (新規)

受付番号			確認者:
申請者名			
型式区分	(種別)	耐熱形制御月	用スイッチ
チェックの別	新規・自己	製造者形式	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器申請書 2. 品質管理に関する説明書 3. 電気用品安全法に基づく適合性検査証明書の写(対象品以外については申請者の自主型式試験成績書) 4. 外形図及び外観写真 5. 構造図及び主要部品材料表 6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 7. 機器の種別と定格 8. 書類審査チェックシート 9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、		
1. 登録機器 申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。 (2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。 (3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。 (2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。 (3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。 (4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。 (5) スイッチの検査に必要な試験装置が明記してあるか。 (6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準 エ. JIS及びJEM等における関係規格 オ. 電気設備の技術基準 カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集 ク. 建築基準法関係法令集 ノ. 建築基準法関係法令集 オ〜クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		

-			tta ta ti
項目	チェック内容	結果	指摘事項
3. 電気用品安全	(1) 適合性検査証明書の有効期限に問題はないか。		
法に基づく適合	(2) (1)の記載内容と申請対象機器の定格・仕様は同一か。		
性検査証明書の	(3) (1)以外のスイッチについては、申請者の自主型式試験成績書が		
写又は申請者の 自主型式試験成	添付されているか。		
青玉宝八 <u></u>	(4) (3)の試験成績書の内容に誤りはないか。		
順公	NECA C 4520、NECA 4521、NECA 4522、JIS C 8201-5-1 に適合		
4 H TZ DZ TZ 7 K	又は準拠していること。		
4. 外形図及び 外観写真	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び 日付が記入されているか。		
外観子具	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に明記されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 鮮明な外観のカラー写真(プリント可)が A4 版の台紙に貼付さ		
	(4) 鮮明な外観のガラー 与具(ノリント可)か A4 版の音紙に貼付されているか。		
 5. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
6. 表示(銘板)図、 表示サンプル	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又はその略号		
表示リンプル 又は刻印図	7. 製造有名又はその畸号イ. 耐熱形である旨の表示:(一種又は二種耐熱形)		一種耐熱又は二種
人体列印西	ウ. 耐熱定格使用電流		耐熱でもよい
7. 機器の	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されている		101 W. C O & 4
種別と定格	か。		
1年771 亿 7亿 1日	~~。 ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 定格絶縁電圧		
	工. 定格使用電圧 才. 定格通電電流 力. 耐熱定格使用電流		
	キ.適合規格(適合の場合)		
8. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート			
9. 自主耐熱試験	(1) 耐熱試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っている		
成績書	か		
	(2) 試験前後の写真 (プリント可) が A4 版の台紙に貼付されている		
	か。		
	(3) 加熱温度(280度耐熱温度曲線又は120度耐熱温度曲線)に		
	問題はないか。		
	(4) 試験後の機器は、280度耐熱試験又は120度耐熱試験におい		
	て、機能に影響を及ぼす変形等を生じていないか。		
	(5) 試験後の絶縁抵抗は、直流 500 V 絶縁抵抗計で測定した結果が、		
10. その他	0.4ΜΩ以上あるか。		
10. での利配			
備孝 結果欄にけ	適正け○印 不適正け×印 該当かしけ—印を記入すること	l	

耐熱形制御用スイッチ書類審査チェックシート (更新)

受付番号				確	認者:
申請者名				登録機器番号	
型式区分	(種別)	耐熱形制御	用スイッチ		
チェックの別	更新・自己	製造者形式			

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 登録機器申請書		
	2. 取得済みの登録機器承認通知書の写		
	3. 品質管理に関する説明書		
	4. 電気用品安全法に基づく適合性検査証明書の写		
	(対象品以外については申請者の自主型式試験成績書)		
	5. 外形図		
	6. 構造図及び主要部品材料表		
	7. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	8. 機器の種別と定格 9. 書類審査チェックシート		
 1.登録機器	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
更新申請書	(2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。		
Z4711 III II	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
O 文於 6-2. +/松 中.P.			
 登録機器 承認通知書の写 	承認通知書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
3. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		
	ているか。		
	(5) スイッチの検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ. 社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ、電気設備の技術基準		
	力. 内線規程		
	キ. 消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集 オ〜クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
	オーンに関しては、必安に心して別有して「イムルはよい。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 電気用品安全	(1) 適合性検査証明書の有効期限に問題はないか。		
法に基づく適合	(2) (1)の記載内容と申請対象機器の定格・仕様は同一か。		
性検査証明書の			
写又は申請者の	(3) (1) 以外のスイッチについては、申請者の自主型式試験成績書が		
自主型式試験成	添付されているか。		
績表	(4) (3)の試験成績書の内容に誤りはないか。NECA C 4520、NECA 4521、NECA 4522、JIS C 8201-5-1 に適合		
	RECA C 4520、NECA 4521、NECA 4522、J15 C 6201-5-1 に過っ 又は準拠していること。		
5. 外形図	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び		
9. /P/I/A	日付が記入されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した		
	日付と確認者名が記入されているか。		
	なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
 6. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
7. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア. 製造者名又はその略号		
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:(一種又は二種耐熱形)		一種耐熱又は二種
ス16次月1日	ウ. 耐熱定格使用電流		耐熱でもよい
8. 機器の	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されてい		1007/11/12/0001
種別と定格	るか。		
	ア、種別 イ、製造者形式 ウ、定格絶縁電圧		
	エ. 定格使用電圧 オ. 定格通電電流 カ. 耐熱定格使用電流		
	キ. 適合規格 (適合の場合)		
9. 一部変更	一部変更や軽補正があった場合、その内容が図面等に反映されてい		
・軽補正	るか。		
10. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート			
11. その他			
Hit day / Lees teen so a so	適正は○印 不適正は×印 該当たしは—印を記入すること		

耐熱形配線用ダクト書類審査チェックシート (新規)

受付番号			確認者:
申請者名			
型式区分	(種別)	耐熱形配線原	用ダクト
チェックの別	新規・自己	製造者形式	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 登録機器申請書		
	2. 品質管理に関する説明書		
	3. 申請者の自主型式試験成績書		
	4. 外形図及び外観写真		
	5. 構造図及び主要部品材料表		
	6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	7. 機器の種別と定格		
	8. 書類審査チェックシート		
	9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、		
	温度チャート(試験前後の写真を含む)		
1. 登録機器	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
申請書	(2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職 (部長職以上) であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		
	ているか。		
	(5) ダクトの検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ. 社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ. 電気設備の技術基準		
	力. 内線規程		
	キ.消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集		
	オ~クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
3. 申請者の自主	試験成績書の内容に誤りはないか。		
型式試験成績書			

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 外形図及び	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び	かロント	11 III 7 X
外観写真	日付が記入されているか。		
/ 脚子云	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に明記されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 鮮明な外観のカラー写真(プリント可)が A4 版の台紙に貼付さ		
 5. 構造図及び	れているか。 (1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表			
	(2) 耐熱構造は適切か。		
6. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		任工はサフルマチ
表示サンプル	ア、製造者名又はその略号		一種耐熱又は二種
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:(一種又は二種耐熱形)		耐熱でもよい
7. 機器の	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されている		
種別と定格	か。		
0 書紹忠士	ア.種別 イ.製造者形式 24カスリスカン		
8. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート	(1) 本統治学医(1) (14年)生力では4分)と目よっては2年(1)では2年(1)で		
9. 自主耐熱試験	(1) 耐熱試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っている		
成績書	カ クラン 対象が後の写真(プリント) ボル 性の かがに 肚 仕されて フェ		
	(2) 試験前後の写真(プリント可)が A4 版の台紙に貼付されているか。		
	(3) 加熱温度 (280 度耐熱温度曲線又は 120 度耐熱温度曲線) に		
	問題はないか。 (4) 試験後の機器は、280度耐熱試験又は120度耐熱試験におい		
	て、機能に影響を及ぼす変形等を生じていないか。		
10 7 0 //4	C、1級的に必管で及ばす及かすで上していないが。		
10. その他			

耐熱形配線用ダクト書類審査チェックシート (更新)

受付番号				確	認者:
申請者名				登録機器番号	
型式区分	(種別)	耐熱形配線原	用ダクト		
チェックの別	更新・自己	製造者形式			

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	 登録機器申請書 取得済みの登録機器承認通知書の写 		
	3. 品質管理に関する説明書		
	4. 申請者の自主型式試験成績書		
	5. 外形図 6. 構造図及び主要部品材料表		
	7. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	8. 機器の種別と定格		
	9. 書類審査チェックシート		
1. 登録機器	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
更新申請書	(2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。		
0 35 53 106 00	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 登録機器 承認通知書の写	承認通知書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
3. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職 (部長職以上) であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(5) ダクトの検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
	ア、耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ. 社内設計基準 ウ. 社内検査基準		
	エ.JIS及びJEM等における関係規格		
	オ. 電気設備の技術基準		
	力. 内線規程		
	キ. 消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集 オ〜クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
4. 申請者の自主	試験成績書の内容に誤りはないか。		
型式試験成績書			

項目	チェック内容	結果	指摘事項
5. 外形図	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び	WH N	11 16 7 7
0. 717172	日付が記入されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した		
	日付と確認者名が記入されているか。		
	なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
6. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
7. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア. 製造者名又はその略号		一種耐熱又は二種
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:(一種又は二種耐熱形)		耐熱でもよい
8. 機器の	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されている		
種別と定格	か。 - 年四 / 404-4-112-1-		
	ア、種別 イ、製造者形式		
9. 一部変更 ・軽補正	一部変更や軽補正があった場合、その内容が図面等に反映されてい るか。		
10. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート			
11. その他			

耐熱形カードホルダ書類審査チェックシート (新規)

年	月	Е

受付番号			確認者:
申請者名			
型式区分	(種別)	耐熱形カー	ドホルダ
チェックの別	新規・自己	製造者形式	

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 登録機器申請書		
	2. 品質管理に関する説明書		
	3. 申請者の自主型式試験成績書		
	4. 外形図及び外観写真		
	5. 構造図及び主要部品材料表		
	6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	7. 機器の種別と定格		
	8. 書類審査チェックシート		
	9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、		
. → A A J I/A HH	温度チャート(試験前後の写真を含む)		
1. 登録機器	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
申請書	(2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		
	ているか。		
	(5) カードホルダの検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ. 社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ、電気設備の技術基準		
	力. 内線規程		
	キ. 消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集		
9 由註本の白子	オークに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
3. 申請者の自主 型式試験成績書	試験成績書の内容に誤りはないか。		
主八武帜队积青			

75 L	エ カ 由 <i>伝</i>	★田	松 英 東 西
項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 外形図及び	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び		
外観写真	日付が記入されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に明記されているか。		
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
	(4) 鮮明な外観のカラー写真(プリント可)が A4 版の台紙に貼付さ		
	れているか。		
5. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
6.表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア. 製造者名又はその略号		一種耐熱又は二種
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:(一種又は二種耐熱形)		耐熱でもよい
7. 機器の	「登録機器申請審査規程」表 2 に掲げる次の事項が明記されている		
種別と定格	Ď³ο		
	ア.種別 イ.製造者形式		
8. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート			
9. 自主耐熱試験	(1) 耐熱試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っている		
成績書	か		
	(2) 試験前後の写真 (プリント可) が A4 版の台紙に貼付されている		
	か。		
	(3) 加熱温度 (280度耐熱温度曲線又は120度耐熱温度曲線) に		
	問題はないか。		
	(4) 試験後の機器は、280 度耐熱試験又は120 度耐熱試験におい		
10 7 7 11.	て、機能に影響を及ぼす変形等を生じていないか。		
10. その他			
	- 適正け○印 - 不適正け∀印 - 該当かしけ□印を記入すること		

耐熱形カードホルダ書類審査チェックシート (更新)

受付番号			確認者:		
申請者名				登録機器番号	
型式区分	(種別)	耐熱形カー	ドホルダ		
チェックの別	更新・自己	製造者形式			

項目	チェック内容	結果	指摘事項
○申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。		
	1. 登録機器申請書		
	2. 取得済みの登録機器承認通知書の写		
	3. 品質管理に関する説明書		
	4. 申請者の自主型式試験成績書		
	5. 外形図		
	6. 構造図及び主要部品材料表		
	7. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図		
	8. 機器の種別と定格		
. →v 6→ 1/1/ HH	9. 書類審査チェックシート		
1. 登録機器	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
更新申請書	(2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 登録機器	承認通知書の写と、更新申請書の記載内容に相違はないか。		
承認通知書の写			
3. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		
	ているか。		
	(5) カードホルダの検査に必要な試験装置が明記してあるか。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ. 社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ、電気設備の技術基準		
	力. 内線規程		
	キ. 消防法関係法令集		
	ク. 建築基準法関係法令集		
4 由建步の力ご	オークに関しては、必要に応じて所有していればよい。		
4. 申請者の自主	試験成績書の内容に誤りはないか。		
型式試験成績書			

項目	チェック内容	結果	指摘事項
		和未	拍 摘 争 垻
5. 外形図	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び 日付が記入されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した		
	日付と確認者名が記入されているか。		
	なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
6. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
7. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア. 製造者名又はその略号		一種耐熱又は二種
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:(一種又は二種耐熱形)		耐熱でもよい
8. 機器の	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されている		
種別と定格	Ď³。		
o 49- 4	ア、種別 イ、製造者形式		
9. 一部変更 • 軽補正	一部変更や軽補正があった場合、その内容が図面等に反映されてい		
10. 書類審査	るか。 確認者名及び日付が記入されているか。		
10. 音級番丘 チェックシート	PERMIT DISTRICT OF THE PROPERTY OF THE PROPERT		
11. その他			
11. (3)			

耐熱形低圧配電用サージ防護デバイス書類審査チェックシート (新規)

受付番号			確認者:
申請者名			
型式区分	(種別)	低圧配電用	サージ防護デバイス
チェックの別	新規・自己	製造者形式	

項目	チェック内容	結果	指	摘	事	項
○申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)					
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。					
	1. 登録機器申請書					
	2. 品質管理に関する説明書					
	3. 申請者の自主型式試験成績書					
	4. 外形図及び外観写真					
	5. 構造図及び主要部品材料表					
	6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図					
	7. 機器の種別と定格					
	8. 書類審査チェックシート					
	9. 自主耐熱試験成績書(自己チェックシートを添付)、					
 1.登録機器	温度チャート (試験前後の写真を含む) (1) 申請者の記載内容に誤りはないか。					
申請書						
中明百	(2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。					
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。					
2. 品質管理に	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。					
関する説明書	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。					
	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。					
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され					
	ているか。					
	(5)機器の検査に必要な試験装置が明記してあるか。					
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。					
	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引					
	イ、社内設計基準					
	ウ. 社内検査基準					
	エ. JIS及びJEM等における関係規格					
	オ、電気設備の技術基準					
	力. 内線規程					
	キ. 消防法関係法令集					
	ク. 建築基準法関係法令集					
	オ~クに関しては、必要に応じて所有していればよい。	<u> </u>				
3. 申請者の自主	自主型式試験成績書の内容に誤りはないか。					
型式試験成績書	JIS C 5381-1に適合又は準拠していること。					

項目	チェック内容	結果	指	摘	事	項
4. 外形図及び	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び					
外観写真	日付が記入されているか。					
× 1 192 € 2 €	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)					
	(2) 外形、取付け寸法、形状が明確に明記されているか。					
	(3) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。					
	(4) 鮮明な外観のカラー写真(プリント可)が A4 版の台紙に貼付さ					
	れているか。					
 5. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。					
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。					
6. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。					
表示サンプル	ア. 製造者名又はその略号		一種i	耐熱	又は	二種
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示:(一種又は二種耐熱形)		耐熱	でも。	よい	
7. 機器の	「登録機器申請審査規程」表 2 に掲げる次の事項が明記されている					
種別と定格	<i>ħ</i> *₀					
	ア.種別 イ.製造者形式 ウ.最大連続使用電圧					
	エ. 電流の種別					
	オ. 公称放電電流(クラスⅠ試験及びクラスⅡ試験) 最大放電電流 (クラスⅡ試験)					
	インパルス電流(クラス I 試験)					
	カ、電圧防護レベル キ、適合規格(適合の場合)					
8. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。					
チェックシート						
9. 自主耐熱試験	(1) 耐熱試験は「構造及び性能に関する基準」に基づき行っているか					
成績書	(2) 試験前後の写真 (プリント可) が A4 版の台紙に貼付されている					
	<i>λ</i> ι ₀					
	(3) 加熱温度 (280 度耐熱温度曲線又は 120 度耐熱温度曲線) に 問題はないか。					
	(4) 試験後の機器は、280度耐熱試験又は120度耐熱試験において、					
	機能に影響を及ぼす変形等を生じていないか。					
10. その他						
Mark (Lee tee)	 適正は○印 不適正は×印 該当かしは一印を記入すること					

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは一印を記入すること。

耐熱形低圧配電用サージ防護デバイス書類審査チェックシート (更新)

受付番号			確認者:			
申請者名				登録機器番号		
型式区分	(種別)	低圧配電用	サージ防護デバイ	イス		
チェックの別	更新・自己	製造者形式				

項目	チェック内容	結果	指	摘	事	項
○申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器更新申請書 2. 品質管理に関する説明書 3. 申請者の自主型式試験成績書 4. 外形図 5. 構造図及び主要部品材料表 6. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 7. 機器の種別と定格 8. 書類審査チェックシート					
1. 登録機器 申請書	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。(2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。(3) 製造者形名が正しく記載されているか。					
2. 品質管理に関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。 (2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。 (3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。 (4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。 (5) 機器の検査に必要な試験装置が明記してあるか。 (6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引イ. 社内設計基準ウ. 社内検査基準 エ. JIS及びJEM等における関係規格オ. 電気設備の技術基準カ. 内線規程キ. 消防法関係法令集ク. 建築基準法関係法令集オークに関しては、必要に応じて所有していればよい。					
3. 申請者の自主 型式試験成績書	自主型式試験成績書の内容に誤りはないか。 JIS C 5381-1に適合又は準拠していること。					

項目	チェック内容	結果	指摘事項
4. 外形図	(1) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び		
1. 기계/점	日付が記入されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した		
	日付と確認者名が記入されているか。		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
- # /	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
5. 構造図及び	(1) 主要部品の形状と材料が記載されているか。		
主要部品材料表	(2) 耐熱構造は適切か。		
6. 表示(銘板)図、 表示サンプル	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又はその略号		 一種耐熱又は二種
表示サンプル 又は刻印図	7. 製造有名又はその畸号		一種⊪黙又は一個 耐熱でもよい
7. 機器の	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる次の事項が明記されている		間然でします。
種別と定格	か。		
	ア. 種別 イ. 製造者形式 ウ. 最大連続使用電圧		
	エ. 電流の種別		
	オ. 公称放電電流(クラスⅠ試験及びクラスⅡ試験)		
	最大放電電流(クラスⅡ試験)		
	インパルス電流(クラスⅠ試験)		
	カ、電圧防護レベルキ、適合規格(適合の場合)		
8. 一部変更 ・軽補正	一部変更や軽補正があった場合、その内容が図面等に反映されているか。		
9. 書類審査	後期		
チェックシート	PERCHANCE AND CAROCA SA		
10. その他			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは一印を記入すること。

登録機器(OEM)書類審査チェックシート (新規)

受付番号			確認者:
申請者名			
型式区分	(種別)		
チェックの別	新規・自己	製造者形式	

-# II		/4. III	Ho He
項目	チェック内容	結果	指摘事項
○ 申請図書	(1) 申請書及び図書類はA 4 綴じか。(用紙の最大はA3 サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次による。 1. 登録機器申請書 2. 認定証書の写(製造元/OEM元) 3. 品質管理に関する説明書及び品質保証体系図 4. 外形図 5. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 6. 機器の種別と定格 7. 書類審査チェックシート(自己チェック)		
1. 登録機器	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
申請書	(2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。		
	(3) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 製造元の 登録機器承認 通知書の写 3. 品質管理に関 する説明書及び 品質保証体系図	認定証書と申請書の内容に相違はないか。 ア・型式区分 イ・有効期限(期限内であること。) ウ・その他 (1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。 (2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。 (3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。 (4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載されているか。 (5) 機器の試験に必要な装置を備えているか、明記する。 (6) 次の規格基準類を所有しているか。 ア・耐熱形配電盤等機器型式認定の手引 イ・社内設計基準 ウ・社内検査基準 エ・JIS及びJEM等における関係規格 オ・電気設備の技術基準 カ・内線規程 キ・消防法関係法令集 ク・建築基準法関係法令集 オ〜クに関しては、必要に応じて所有していればよい。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
3. 品質管理に関する説明書及び	(7) 品質保証体系図には、製造元と申請者の間に登録機器の受渡し 等が明確に記載されているか。		
品質保証体系図	(8) その他、記載内容に誤りはないか。		
4. 外形図	(1) 申請者の図面で、外形図が書かれているか。		
	(2) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付が記入されているか。 (最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(3) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(4) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
5. 表示(銘板)図、表示サンプル	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。 ア. 製造者名又は略号		
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示(一種又は二種耐熱形)		
	ウ. 耐熱定格電流又は耐熱定格通電電流 エ. 耐熱定格遮断容量(過電流保護器として遮断器を有するもの)		
6. 機器の	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる関連事項が明記されている		
種別と定格	立。 立。 立。 立。 立。 立。 立。 立。 立。 立。		
7. 書類審査 チェックシート	確認者名及び日付が記入されているか。		
8. その他			
0. C 1/1E			
	適正け○印 不適正け∨印 該当かしけ―印を記入すること		

登録機器(OEM) 書類審査チェックシート (更新)

受付番号			確	認者:
申請者名			登録機器番号	
型式区分	(種別)			
チェックの別	更新・自己	製造者形式		

項目	 チェック内容	結果	指摘事項
○申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)	がロント	11 III 7 .X
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次によっているか。 1. 登録機器更新申請書 2. 自社及び製造元/OEM 元取得済み登録機器承認通知書の写 3. 品質管理に関する説明書及び品質保証体系図 4. 外形図 5. 表示(銘板)図、表示サンプル又は刻印図 6. 機器の種別と定格 7. 書類審査チェックシート(自己チェック)		
1. 登録機器	(1) 申請者の記載内容に誤りはないか。		
更新申請書	(2) 型式区分(種別)が正しく記載されているか。		
	(3) 型式番号が正しく記載されているか。		
	(4) 製造者形名が正しく記載されているか。		
2. 自社及び製造	認定証書と申請書の内容に相違はないか。		
元の登録機器承	ア、自社の認定証書と更新申請書の型式区分		
認通知書の写	イ. 製造元の有効期限(期限内であること。)		
	ウ. 自社と製図元の認定証書の内容 エ. その他		
	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
する説明書及び	(2) 品質管理担当責任者は管理職 (課長職以上) であるか。		
品質保証体系図	(3) 品質管理組織図には、各部門の体制図が記載されているか。		
	(4) 品質管理組織図には、クレーム対策についての対処が記載され		
	ているか。		
	(5) 機器に必要な試験装置を備えているか、明記する。		
	(6) 次の規格基準類を所有しているか。		
	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		
	イ. 社内設計基準		
	ウ. 社内検査基準		
	エ. JIS及びJEM等における関係規格		
	オ、電気設備の技術基準		
	カ. 内線規程 キ. 消防法関係法令集		
	キ. 相防法関係法令集ク. 建築基準法関係法令集		
	オークに関しては、必要に応じて所有していればよい。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項
3. 品質管理に関		かロント	11 IN 7 X
する説明書及び	(7) 品質保証体系図には、製造元と申請者の間に登録機器の受渡し		
品質保証体系図	等が明確に記載されているか。		
加貝水皿件水凸	(8) その他、記載内容に誤りはないか。		
4. 外形図	(1) 申請者の図面で、外形図が書かれているか。		
	(2) 図面(全般)には、製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日		
	付が記入されているか。		
	(最低限、製図者か設計者及び検図者か承認者が必要)		
	(3) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日		
	付と確認者名が記入されているか。		
	なお、確認日は、提出日の3か月前までのものとする。		
	(4) 外形、取付け寸法、形状が明確に記載されているか。		
	(5) 定格等の表示、及び耐熱種別表示の位置が明示されているか。		
5. 表示(銘板)図、	表示には、次に掲げる事項が明記されているか。		
表示サンプル	ア、製造者名又は略号		
又は刻印図	イ. 耐熱形である旨の表示(一種又は二種耐熱形)		
	ウ. 耐熱定格電流又は耐熱定格通電電流		
C KK III C	エ. 耐熱定格遮断容量(過電流保護器として遮断器を有するもの)		
6. 機器の	「登録機器申請審査規程」表2に掲げる関連事項が明記されている		
種別と定格 7. 一部変更	か。 一部変更や軽補正があった場合、その内容が図面等に反映されてい		
7. 一部変更・軽補正	一部変更や軽相正があった場合、その内谷が図画寺に反映されているか。		
8. 書類審査	確認者名及び日付が記入されているか。		
チェックシート	HERD BALLY OF LIVE HOLL AND CAR OF THE PERSON OF THE PERSO		
9. その他			
J. C ♥ > E			

品質管理チェックシート

|--|

項目	チェック内容	結果	指摘事項
1. 品質管理組織	(1) 会社組織表で品質管理の位置づけが確認できるか。		
	(2) 社内の制定文書で品質管理組織が確立されているか。		
	(3) 品質管理組織上の責任及び権限を明確にしているか。		
2. 規格、図面の管理	(1) 保管責任者が定められているか。		
	(2) 管理部門、製造部門等必要な場所に備えているか。		
	(3) 次の規格、基準類(最新版)が備えられているか。		品質管理規程に
	ア. 耐熱形配電盤等機器型式認定の手引		明記
	イ. 消防法関係法令集		
	ウ. 建築基準法関係法令集		
	エ. 電気設備の技術基準		
	才. 内線規程		
	カ. JIS及びJEM等における関係規格		
	キ. 社内設計基準		
	ク. 社内検査基準		
3. 環境の管理	(1) 整理、整頓が行われているか。		
	(2) 危険防止のための標識、識別が作業場内にされているか。		
	(3) 試験、検査の場所を確保することができるか。		
4. 試験装置等の管理	(1) 次の試験装置等を備えているか。		品質管理規程に
	ア. 電圧調整器 100V 5A以上		明記
	イ. 電流調整器 400A、CT400/5A		
	ウ. 交流電圧計 150/300V, 0.5級以上		
	工. 交流電流計 5A 0.5級以上		
	才. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上		
	カ. 絶縁抵抗計 DC500V		
	キ. 検電器 2000 V 用以上		
	ク. テスタ		
	ケ. 温度計、湿度計		
	コ. その他、申請機器に対応した試験装置		
	(2) 管理基準を定めて管理しているか。		
	(3) 計器類は校正され、その表示がなされているか。		
5. 作業者等の	作業者に対し、製品の規格、仕様、作業方法等について教育及		
技術管理	び訓練がなされているか。		
	ア、社外講習への参加		
	イ. 社内講習の実施		
	ウ. 現場作業についての技術指導		
6. 在庫品の管理	(1) 材料、部品及び完成品は良好に保管されているか。		
	(2) 倉庫及び組立現場において材料、部品が防災用と一般用と		
	区分して保管されているか。		
	(3) 不適合品等が適正に管理されているか。		

項目	チェック 内 容	結果	指摘事項
7.製造工程の管理	(1) 作業標準等を制定し、作業員に周知徹底しているか。		
	(2) 品質管理工程図が作成されているか。		
8. 試験及び検査	(1) 材料、部品等の受入検査基準を定め、実施しているか。		
	(2) 製品の検査基準を定め、実施しているか。		
	(3) 検査時の具体的なチェック表を作成しているか。		
	(4) 検査したものについて表示がなされているか。		
	(5) 出荷品の検査記録は保管されているか。(10年間)		
9. 情報の管理	(1) 納入後に発生した不具合等について調査、対策、処置の記		
	録が整理、保管されているか。		
	(2) 不具合等について再発防止の措置がとられており、具体的		
	な例で説明できるか。		
10. 認定取得後の	(1) 認定証票は、どのような管理をするか。		
証票の管理	(2) 認定証票交付申請書、認定証票使用報告書及び認定証票取		
	付台帳の管理体制は、どのようにするか。		
 11. その他			
11. C 0 / E			

備考 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは一印を記入すること。

構造検査チェックシート

(一・二種耐熱形配線用遮断器・ヒューズ・素子なし配線用遮断器)

申請者名	実施年月日	年 月 日
------	-------	-------

	項		目	チェック内容	結果
	極数	Ţ		(1)2極 (2)3極 (3)その他()極	
	素子数			(1)素子なし (2)1素子 (3)2素子 (4)3素子 (5)その他()	
	相紡	民式		(1)単相 (2)3相(単3兼用) (3)単3専用 (4)その他()	
	引外	・し方式		(1)熱動(熱動-電磁) (2)電磁 (3)その他()	
	消弧	室		(1)有 (2)無	
	ク	ース	材料基材	(1)フェノール (2)ポリエステル (3)その他()	
	(~	ベース)	充 填 物	(1)有機 (パルプ類) (2)無機 (ガラス等) (3)その他 ()	
	. 1.	3	材料基材	(1)フェノール (2)ポリエステル (3)その他()	
	乙	バー	充填物	(1)有機 (パルプ類) (2)無機 (ガラス等) (3)その他 ()	
配		接点と	尊体	(1) 普通ハンダ (2) 高温ハンダ・溶接・カシメ・ロー付・ネジ止	
AC				(3)その他()	
線	接	端子と	尊体	(1) 普通ハンダ (2) 高温ハンダ・溶接・カシメ・ロー付・ネジ止	
11715	合			(3) その他 ()	
用	コイル		と導体	(1) 普通ハンダ (2) 高温ハンダ·溶接・カシメ・ロー付・ネジ止 (3) その他 ()	
遮	部 可とう			(1) 普通ハンダ (2) 高温ハンダ・溶接・カシメ・ロー付・ネジ止	
	分と固定		尊体	(3)その他()	
	,	バイメタルと導体		(1) 普通ハンダ (2) 高温ハンダ・溶接・カシメ・ロー付・ネジ止	
断				(3)その他()	
	バッ	ネ 可動鉄心復帰バネ 鉄 心 バ ネ		(1)ステンレス鋼および鋼 (2)りん青銅 (3)その他()	
器	かの			(1)ステンレス鋼および鋼 (2)りん青銅 (3)その他 ()	
	材質			(1)ステンレス鋼および鋼 (2)りん青銅 (3)その他 ()	
	スイッチのケース (ベース)材料			(1)フェノール (2)ポリエステル (3)その他 ()	
	付	スイッチの			
	属	ボタン材料		(1)フェノール (2)ポリエステル (3)その他 ()	
	引出しリード線の			(1)ビニル電線 (2)耐熱性電線 (3)その他()	
	置		チの端子と 線の接合	(1)普通ハンダ (2)高温ハンダ・溶接・ネジ止 (3)その他 ()	
	端子台の材料		の材料	(1)フェノール (2)ポリエステル (3)その他()	
ヒ	ヒューズの可溶体		丁溶体	(1)銀 (2)その他()	
ュー	キャ	・ップの接	· 接続	(1)溶接 (2)圧接 (3)ネジ止 (4)ハンダ (5) その他()	
ズ	可溶体の形状		<u></u>	(1) 板状のもの (2) 塊状のもの (3) その他 ()	

- 備考1. チェック内容の該当箇所を○で囲み、適正は○印、不適正は×印、該当なしは一印を記入すること。
 - 2. その他の材料等を使用の場合は() 内に具体的に記入すること。
 - 3. 付属装置は二種のみに適用すること。

構造検査チェックシート

(一・二種耐熱形電磁接触器・電磁継電器)

				-				
申	請者	1 名			実施年月日	年	月	日
				Τ				
	;	項	目	チェ	ック内容			結果
極	数			(1)2極 (2)3極 (3)その他()極			
消	弧 室》	*		(1)有 (2)無				
	ケー	ス	材料基材	(1)フェノール (2)ポリエステ/	レ (3)その他 ()		
(フレー	-ム)	充 填 物	(1)有機 (パルプ類) (2)無機	(ガラス等) (3)その他 ()	
	 	12 1 2 1 1	材料基材	(1)フェノール (2)ポリエステ/	レ (3)その他()		
1	イルオ	ドヒン 	充 填 物	(1)有機 (パルプ類) (2)無機	(ガラス等) (3)その他 ()	
	接点	と導体		(1)普通ハンダ (2)高温ハンダ・	溶接・カシメ・	ロー付・ネジ止		
接	15/11	C 4414.		(3)その他()				
合	端子	と導体		(1) 普通ハンダ (2) 高温ハンダ	・溶接・カシメ	・ロー付・ネジ止		
				(3) その他() (1) 普通ハンダ (2) 高温ハンダ	・	<u> </u>		
部	部コイルと導体分別を選供し田会選件		ž.	(1) 音通ハンタ (2) 同価ハンタ (3) その他 ()	・俗な・ハンハ・	・ロード・小へ正		
分			四点举件		・溶接・カシメ	・ロー付・ネジ止		
	可とう導体と固定導体		固疋學体	(3)その他 ()				
バネ	バネの 接点用押えバネ		甲えバネ	(1)ステンレス鋼および鋼 (2) り	りん青銅 (3)そ	の他 ()		
材質	材質 可動鉄心復帰バネ		心復帰バネ	(1)ステンレス鋼および鋼 (2)	りん青銅 (3)そ	の他 ()		
	付属装置 補助スイッチのケース材料		ース材料	(1)フェノール (2)ポリエステ/	レ (3)その他()		
イン	インターロック 材料基材		材料基材	(1)フェノール (2)ポリエステ/	レ (3)鋼材 (4)その他 ()		
等の	等の材質 充填物		充填物	(1)有機 (パルプ類) (2)無機	(ガラス等) (3)その他 ()	
そσ.)他							

- 備考1. チェック内容の該当箇所を○で囲み、適正は○印、不適正は×印、該当なしは-印を記入すること。
 - 2. その他の材料等を使用の場合は()内に具体的に記入すること。
 - 3. ※印は耐熱形電磁接触器にのみ適用すること。

耐熱試験チェックシート

(一・二種耐熱形配線用遮断器・素子なし配線用遮断器)

申請者名		実施年月日	年	月	日
------	--	-------	---	---	---

	項	目	チェック内容	結果
	200%	/II. =\ F	フレーム内の製作している最大定格電流のものであるか。	
引外し試験		供試品	構造検査(耐熱構造のチェック)に合格したものであるか。	
		電源	試験電源の電圧は任意であるが、50Hz 又は 60Hz の電源であるか。。	
予		接続電線	遮断器に直接接続される電線の太さは「認定機器試験基準」に基づいているか。	
備		電流		
試		動作時間	動作時間はコールドスタートで各極に対して試験し、基準周囲温度に換算 したとき製造者が予め設定した動作時間に適合しているか。	
験	付属装置	補助接点	遮断器を開閉操作したとき、補助接点が正常な動作をしているか。	
	の動作	警報接点	遮断器をトリップーリセット操作したとき、警報接点が正常な動作をして いるか。	
耐熱	!通電試験	供試品	予備試験を行なったものであるか。	
		取付け	認定された加熱炉に「認定機器試験基準」の付図 2.4A 又は付図 2.4B に基づき取付けられているか。	
		接続	耐熱通電試験における接続方法は「認定機器試験基準」に基づいているか。 各極同時に通電するように接続されているか。	
		加熱	「構造及び性能に関する基準」図 2.4 の C 点の温度を図 1 の耐熱試験温度曲線 (一種は 280 度、二種は 120 度) に従って加熱したか。	
		記録	自動記録の記録用紙に予め標準加熱曲線(基準および上下バンド)が記入されているか。記録紙は添付されているか。	
		通電	通電は耐熱定格電流を標準加熱曲線の時間の起点から通電したか。 電流は電流計によって30分間監視したか。	
		動作	30 分間動作せずに通電できたか。	
		付属装置	30 分間スイッチの誤動作はなかったか。(適当なリレーを用いた自己保持回路が開放しないことを確認。電圧、電流レベルを記録。)	
耐熱	热遮断試験	供試品	耐熱通電試験を行なったものであるか。	
		取付け接続	耐熱通電試験のままの取付けであるか。 接続は各極同時に規定の電圧の下で規定の電流が通電されるように接続 されているか。(定格電流が100A超過のものは炉から取出し遮断試験を行 ってもよい。)	
		試験回路	電圧はAC200V以上あるか。 電流はAC200Vに対応する耐熱定格遮断容量以上の値であるか。 力率は「認定機器試験基準」に基づいているか。	
		責 務	試験の動作責務は"0"1回であるか。	
		遮断	バックアップ遮断器により電流遮断を行っていないことをオロシグラム により確認したか。	
		地 絡	地絡検出用のヒューズが溶断していないことを確認したか。	

項	目	チェック内容	結果
耐熱遮断試験	試 験	遮断試験は耐熱通電試験終了後5分以内に行われたか。	
	武 观	(定格電流が 100 A以下のもののみに適用する。)	
		(1) 遮断試験時のC点温度は記録されたか。	
		(定格電流が 100 A以下のもののみに適用する。)	
	温 度	(2) 炉から出して試験を行う場合は取り出し時のC点温度は、	
		一種は 200 度以上、二種は 100 度以上となっているか。	
		(定格電流 100 A を超えるもののみに適用し記録紙を添付すること。)	
	付属装置	遮断器の遮断動作に対応して付属装置は正常に動作したか。	
	门俩衣臣	(自己保持回路の開放を確認)	
絶縁抵抗試験	供試品	耐熱遮断試験を行なったものであるか。但し、素子なし配線用遮断器は耐	
	N 11-4 111	熱通電試験後に行うこと。	
	絶縁抵抗	直流 500 V 絶縁抵抗計により、「認定機器試験基準」にしたがって、絶縁抵	
	測定	抗を測定して、0.4MΩ以上であるか。(定格電流が100A超過のものは、耐	
		熱通電試験後と耐熱遮断試験後(炉外)に行うこと。)	
	測定開始	絶縁抵抗の測定開始は耐熱遮断試験終了直後に行われたか。	
		絶縁抵抗測定開始時のC点温度は記録されたか。	
	温 度	定格電流が 100Aを超えるもので、炉外で耐熱遮断試験を行ったものは遮	
		断試験5分以内に行われたか。	
その他			

備考1. 試供品の台数及び判定は「認定機器試験基準」によること。

耐熱試験チェックシート

(一・二種耐熱形ヒューズ)

項	I		チェック内容	結果
200%			ヒューズホルダに適用可能な最大ヒューズリンクのものであるか。	
溶断試験	試付	共 品	構造検査(耐熱構造のチェック)に合格したものであるか。	
	電	源	試験電源の電圧は任意であるが、50Hz又は60Hzの電源であるか。	
	接続	電線	ヒューズに直接接続される電線の太さは「認定機器試験基準」に基づいているか。	
	油断	時間	溶断時間はコールドスタートで溶断試験したとき JIS C 8352 に示される溶断時間電流特性の範囲に適合しているか。	
耐熱	供記	式 品	200%溶断試験を行ったものと同一ロットであるか。	
通電試験	取付	すけ	認定された加熱炉に「認定機器試験基準」の付図 2.4A、付図 2.4B に基づき取付けられているか。	
	مليا	/ -: :	耐熱通電試験における接続方法は、「認定機器試験基準」に基づいているか。	
	接	続	単相接続で各ヒューズ「認定機器試験基準」によって行う。	
	加	熱	「構造及び性能に関する基準」図 2.4 の C 点の温度を図 1 の耐熱試験温度曲線 (1 種は 280 度、二種は 120 度) に従って加熱したか。	
	記	録	自動記録の記録用紙に予め標準加熱曲線 (基準及び上下バンド) が記入されているか。	
			通電は耐熱定格電流を標準加熱曲線の時間の起点から通電したか。	
	通	電	電流は電流計によって30分間監視したか。	
	溶	断	30 分間動作せずに通電できたか。	
耐熱	供記	式 品	耐熱通電試験を行ったものであるか。	
遮断試験			耐熱通電試験のままの取付けであるか。	
25711 100	取付け接続		接続は規定の電圧の下で規定の電流が通電されるように接続されているか。 (定格電流が100A超過のものは炉から取出し遮断試験を行ってもよい。)	
	試験回路		電圧はAC220V以上であるか。	
			電流はAC220Vに対応する耐熱定格遮断容量以上の値であるか。	
			力率は「認定機器試験基準」に基づいているか。	
	責	務	試験の責務は、"O"1回で発弧位相は65°~90°であるか。	
	遮	断	バックアップ遮断器により電流遮断を行っていないことをオシログラムにより確認したか。	
	地	絡	地絡検出用のヒューズが溶断していないことを確認したか。	
	試	験	遮断試験は耐熱通電試験終了後5分以内に行われたか。 (定格電流が100A以下のもののみに適用する。)	
	温	度	(1) 遮断試験時のC点温度は記録されたか。 (2) 炉から出して試験を行う場合の取り出し時のC点温度は、 一種は 200 度以上、 二種は 100 度以上 となっているか。 (定格電流 100 Aを超えるもののみに、適用し記録紙を添付すること。)	

項	目	チェック内容	結果
絶縁	供試品	耐熱遮断試験を行ったものであるか。	
抵抗試験	絶縁抵抗 測 定	直流 500 V 絶縁抵抗計により、「認定機器試験基準」にしたがって絶縁抵抗を 測定し、0.4 M Ω 以上であるか。(定格電流が 100 A 超過のものは耐熱通電試験 後と耐熱遮断試験後(炉外)に行うこと。)	
	測定開始	絶縁抵抗の測定開始は耐熱遮断試験終了直後に行われたか。	
		絶縁抵抗測定開始時のC点温度は記録されたか。	
	温度	定格電流が 100 A を超えるもので、炉外で耐熱遮断試験を行ったものは遮断試験 5 分以内に行われたか。	

備考1. 試供品の台数及び判定は「認定機器試験基準」によること。

^{2.} 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは-印を記入すること。

耐熱試験チェックシート

(一・二種耐熱形電磁接触器・電磁継電器)

|--|

項	目	チェック内容	結果
予備試験	試 供 品	構造検査(耐熱構造チェック)に合格したものであるか。	
	電源	試験電源の電圧は任意であるが、50Hz又は60Hzの電源であるか。	
	拉供最单	接触器又は継電器に直接接続される電線の太さは「認定機器試験基準」に基	
	接続電線	づいているか。	
	動作電圧	定格使用電圧の85~110%で動作は良好か。	
耐熱	供試品	予備試験を行ったものであるか。	
通電試験	取付け	認定された加熱炉に「認定機器試験基準」の付図 3.4(又は付図 4.4)に基づき取付けられているか。	
		耐熱通電試験における接続方法は「認定機器試験基準」に基づいているか。	
	接続	各極同時に通電するよう接続されているか。	
	加熱	「構造及び性能に関する基準」図 2.4 の C 点の温度を図 1 の耐熱試験温度曲線 (一種は 280 度、二種は 120 度) に従って加熱したか。	
	記録	自動記録の記録用紙に予め標準加熱曲線(基準及び上下バンド)が記入されているか。	
		通電は耐熱定格通電電流を標準加熱曲線の時間の起点から通電したか。	
	通電	電流は電流計によって 29 分間監視したか。	
	動作	29 分間動作せずに通電できたか。	
耐熱	供試品	耐熱通電試験を行ったものであるか。	
開閉試験		耐熱通電試験のままの取付けであるか。	
	取付け接続	接続は各極同時に規定の電圧の下で規定の電流が通電されるように接続されているか。	
		電圧は、交流用又は交直両用の場合は AC220V 以上、直流用の場合は DC220V 以	
		上 (DC110 用の場合は、110V 以上) であるか。	
	試験回路	電流は、AC220V、DC220V (DC110V 用は DC110V) に対応する耐熱定格通電電流 以上の値であるか。	
		力率は、0.6~0.7又はL/Rが0.85~1.15ms であるか。	
	責 務	試験の動作責務は"CO"2回であるか。	
	開閉	バックアップ遮断器により電流を開閉していないことを確認したか。	
	地 絡	地絡検出用のヒューズが溶断していないことを確認したか。	
	温 度	開閉試験時のC点温度は記録されたか。	
 絶縁	供試品	耐熱開閉試験を行ったものであるか。	
抵抗試験	<u></u>	直流 500V 絶縁抵抗計により、「認定機器試験基準」にしたがって絶縁抵抗を測	
	測 定	定し、0.4MΩ以上であるか。	
	測定開始	絶縁抵抗の測定開始は耐熱開閉試験終了直後に行われたか。	
	温度	絶縁抵抗測定開始時のC点温度は記録されたか。	

構造検査及び耐熱試験チェックシート

(耐火形端子台)

申 請 者 名

項	E		チェック内容	結果
構造検査	極	数	(1)1極 (2)2極 (3)3極 (4)その他()極	
		子の形状	(1)ねじ端子 (2)スタッド端子 (3)クランプ端子 (4)押締端子 (5)その他 ()	
	Ŋ	るみ止め	ゆるむ恐れのある部分にゆるみ止めが施してあるか。 さび等が発生する部分に表面処理が施してあるか。	
	材	絶縁物	(1)セラミック() (2)合成樹脂((3)その他()	
	質	導電部	(1)銅 (2)銅合金 (3)その他()	
		端子ねじ	(1)鋼 (2)ステンレス (3)その他()	
	絶	縁 距 離	空間距離L-L及びL-A並びに沿面距離 a 又は b は「認定機器試験基準」の寸法を有しているか。(適合電線を接続した状態で測定する。)	
耐電圧試験			次の条件で試験を行ったとき、絶縁破壊を発生しなかったか。 (1) 試験電圧 (a)定格絶縁電圧 250Vは2000V (b) 〃 250Vを超え660V以下は2500V (2) 試験電圧印加時間 1分間 (3) 試験電圧印加部分 (a)各充電部間 (b)各充電部と接地金属部間	
耐熱通電試験	取	付け	所定の模擬供試体に正しく、使用状態に取付けられているか。	
	接	続 続	端子台に接続した電線は所定の太さであるか。またねじの締付トルクは「認定機器試験基準」表 1.3 の値であるか。 耐熱定格電流を各極同時に通電できるように接続されているか。	
	加] 熱	加熱は「構造及び性能に関する基準」 図1 の840度耐熱試験温度曲線に基づいて行ったか。	
	詎	显显	自動記録の記録用紙に予め標準加熱曲線(基準及び上下バンド)が記されているか。	
			通電は耐熱定格電流を加熱の起点から通電したか。	
	通	電	電流は電流計により30分間監視したか。	
			30 分間通電できたか。	
耐熱	供	品緒:	耐熱通電試験と同時に同一加熱条件で加熱したものであるか。	
絶縁抵抗試験	接	続続	各充電部間及び各充電部と接地金属間の絶縁抵抗が測定できるよう、適 当な太さの電線が接続されているか。	
			絶縁抵抗の測定は、加熱試験直前及び加熱終了直後に行われたか。	
	絶約	录抵抗測定	直流 500V絶縁抵抗計で測定した各充電部間及び各充電部と接続金属部間の絶縁抵抗は、0.4MΩ以上であったか。	

- **備考1**. チェック内容の該当箇所を○で囲み、結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしは一印を記入すること。
 - 2. その他の材料等を使用の場合は () 内は具体的に記入すること。

耐熱形配電盤等機器型式認定の手引

2023年版(令和5年版)

発 行 一般社団法人日本配電制御システム工業会 非 常 用 配 電 盤 等 機 器 認 定 委 員 会

住 所 東京都港区芝浦2丁目14番5号 (ユニベル田町ビル 4階)

TEL: 03-3436-5510 (代)

発 行 年 月 2023年 4月